臺灣日日新報 (夕刊)
一月十三日

青島に騷擾事件勃發

市黨部劫火に包まれ 青島は死の街と化す

日本人の鼻息の荒さに 保安隊も拱手傍觀

【青島十二日發電通】民國日報の不敬事件掲載に關する青島居留民大會實行委員は大會決議徹底のため總領事の交渉と併行して市民外交を行ふに決し、四組に分れて總領事館、市政府、市黨部、民國日報に强談判のため午後八時激昂した一千の居留民は大舉民國日報に繰出し之を滅茶滅茶に破壞し、次で市黨部に押寄せるや隣りの三階よりピストルの亂射を浴せられ更に激昂して雪崩込み、混亂中の五階より火を發しさしもの大建築も猛火に包まれ火焔は雲に映じて凄壯を極め積怨の報い劫火に呪はるるに至つた、支那側は形勢を察し何れも避難してゐたので人命の損傷はないが、日本人の鼻息の餘りに强きに保安隊、消防隊も拱手傍觀の有様で、九時半遂に武裝せる陸戰隊三百名出動し民團と總領事館に分れ萬一を嚴戒中である、市中は交通杜絶して死の街と化した、居留民の集團は一先つ民團に引揚げ決死の籠城をすることとなつた

八雲出雲から陸戰隊

ロシア人一名負傷したのみ

【青島十二日發聯合】民國日報の不敬記事に關し當地居留民は本日午後三時より居留民大會を開きこれが實行委員約三十名を民國日報及び市黨部に派遣したが、何れもこれに應ぜず民國日報では騷擾を惹起し、次いで市黨部に赴いた代表一行の隨行邦人と衝突大混亂に陷り午後九時頃市黨部四階より突如火を發し全燒した、原因取調中で軍艦八雲、出雲より陸戰隊六百名上陸警備についたが、騷擾中ロシア人一名負傷したのみで他に被害なき模樣である

不敬事件膺懲の決議

青島居留民大會に於て

【青島十二日發電通】不敬事件膺懲の青島居留民大會は十二日午後三時民國ホールに開かれ左の決議を爲した

一、青島市長は最高の敬意を以て公式に陳謝すべし
一、市黨部は國交を破壞するものなれば解散せしむべし
一、民國日報を即時破壞せしむべし
一、右目的達成の爲めあらゆる膺懲手段を執り以て彼等を自覺せしむ

突如、總務長官の更迭

後任平塚廣義氏に決定

木下信氏は休職を命ぜらる

【東京十三日發電通至急報】十二日の閣議で左の如く臺灣總督府總務長官更迭を決定した(號外再錄)

(元東京府知事)正四位勳二等 平塚廣義

任臺灣總督府總務長官(一等)

臺灣總督府總務長官 木下信

文官分限令第十一條第一項第四號に依り休職を命す

總務長官に任ぜられた平塚廣義氏

内閣の方が浮草

總務長官に新任された 平塚廣義氏の横顔

臺灣總務長官の更迭は、噂丈の[illegible]の聞かある。木下氏の後を襲い[illegible]で、臺灣行政の總元締として乘り込んで來る平塚廣義氏は、[illegible]健た人格者だ

× ×

平塚氏は、太田總督とは同縣の山形縣出身だ。明治三十五年の赤門出で、長い間地方長官勤めをやり東京府知事を最後に浪人生活に入つて今日に至つた人

× ×

この人はどちらかと云ふと政黨政派には餘り關係しなかつた人である[illegible]に、後生大事に自分の仕事を守つて行くと云ふ官吏としてはおあつらへ向きの人物だ。その上人ざはりが至て可成りに[illegible]

× ×

最後の東京府知事も可成りに長かつた。風采の立派な、圭角のない人格者であるだけに各方面の人達から好かれたので長い役期を勤ゆたのだが、民政黨内閣が出來た時に官界を退いた。それを犬養内閣に依つて起用された譯であるが、本人としては、それがために政黨色に染まつたとは考へてゐないかも知れぬ(一記者)

× ×

當時氏は、次のやうな事を云つて笑つてゐたものだ

「世間では浮草の地方官と云ふが、わが輩から見れば大隈、寺内、原、高橋、加藤の諸内閣を同一任地で經たのだから、寧ろ浮草の内閣と云ひたいのだ」

と。以つて新長官の面目を知る事が出來やうではないか

× ×

臺灣にも長じてゐるので、内閣か[illegible]〳〵變つても、相も變らず同じ任地に勤めたと云ふ記錄保持者だ

その日の長官官邸

他の訪客を斷つて 林獻堂氏其他と奧で會談

去月十三日内閣更迭の後[illegible]のため十九日歸臺し、重要案件の解決を急いでゐた木下長官は十五日上京の途に上るに先だち十三日休職を命ぜられたが、その日午前十一時半ころ長官官邸を訪へば、木下前長官は他の訪客を斷つて奧の應接室にて林獻堂、蔡培火、[illegible]の三氏と會談中である、玄關脇の訪客待合室には木島紳士か一名面會を待ち合せてゐる、前總務長官が休職を命ぜられたのはこれが最初である

平塚新長官は 穩健な紳士

竹内檢察官長の談

平塚氏が總務長官に任命されたについて、ソレは意外だネ、早速祝電を打たねばなるまい、私は以前から懇意にして居る、同氏は明治三十五年帝大政治科出身で行政官として最も永く勤め脚る紳士的の人だ、ソレで政黨的の色彩が微塵もなくどつちにも[illegible]

大先輩の新任を喜ぶ

殖田局長語る

平塚廣義氏の總務長官新任に就いて殖田殖産局長は語る

平塚長官は明治三十五年の東大出身で兵庫縣知事、東京府知事等を勤め長く地方廻りをやつてゐた、昭和四年七月東京府知事をやめてから悠々自適の生活をなしてゐたものである、溫良な風采の立派なまことに得難い人物である、こんな大先輩が來た事は國家の爲に喜びに堪へない

りのない穩健な人物だ、私は同氏が兵庫縣知事時代に神戶で一緒だつた、一見に好感じの好い人だョ

號外發行

青島居留民不敬事件に對する每日記事に激し大舉して民國日報及び市黨部を破壞し陸戰隊上陸の記事を十三日朝號外として速報した右號外を本紙に再錄しない

第二號外發行

臺灣總督府總務長官の更迭を第二號外として十三日臺北市内其他に配付した

涙なきを得ぬ 古賀聯隊の奮戰

朝鮮軍司令部發表

【京城十二日發本社特電】朝鮮軍司令部發表、古賀騎兵聯隊の戰鬪に關し其後知り得た情況左の如し

古賀騎兵聯隊は十日錦西西方の匪賊討伐に出發し、錦西西方一里半龍王廟に達するや、相當優勢なる匪賊と遭遇し戰鬪を開始す、時に午前十一時頃なり、其後敵は益々優勢となりたるを以つて錦林檢查要衝のため步兵〇〇隊より來りたる石野中尉以下〇〇名もこれに增援し、戰鬪力戰したるも敵は益々增加し、石野中尉遂に戰死す、此間に於て我部隊は錦西に引返さんとし錦西に近づくや城壁より敵の猛烈なる射擊を受け遂に重圍に陷り、古賀聯隊長は壯烈なる戰死を遂げ、米井大尉、野口中尉又戰死す、然るに我部隊は これに屈することなく力戰 最も努め遂に數十倍の敵を擊退せり、敵は多数の死傷者を戰場に遺棄して遁走せり

姬路騎兵聯隊の 壯絕なる肉彈戰

古代蒙古兵の戰術で 兵匪わが軍を包圍

【打虎山十二日發本社特電】昨十一日新立屯附近に於ける姬路騎兵第十聯隊の激戰詳報左の如し

十一日午前十時過ぎ數百隊より成る兵匪は古代蒙古軍が屢々採用して奇功を奏した戰術によつて我騎兵隊百二十名を見る〳〵うちに包圍して我軍に向つて攻擊を開始した、この ままにして置いては全滅の外なしと見た騎兵の隊長不破大尉は騎兵隊を三隊に分ち不破大尉、廣瀨中尉、小野美中尉が各一隊を率ゐ三方に向つて乘馬襲擊を繰返すこと三度に及び、指揮官不破大尉は先頭に立つて敵の中央を突破せんとして騎兵重砲團の集中する所となり馬上名譽の戰死を遂げた、不破大尉の左側から敵の圍みを破らんとした廣瀨中尉の一隊はこれまた廣瀨中尉先頭に立つて軍刀を振り翳し兵匪の隊長らしきものが落馬したので之を叩き斬らんとした刹那、そばにゐた敵兵は劍銃を以つて下から射ち上げたので廣瀨中尉は「しまつた」と一言 左下腹部から右の胸に達する貫通銃創をうけて その場に倒れ、かくて我將兵は續々名譽の戰死を遂げたが小野美中尉の率ゐる一隊は見事血路を開いて午後二時新立屯驛に達し急を打虎山の旅團司令部に報告せんとする内、後から追ひ迫つた兵匪の大部隊は小野美部隊を包圍し又も一齊攻擊を開始したので小野美中尉は生殘つた四十名の部下とともに新立屯の南隅無線電信所に立籠つて敵の包圍を喰止めつつ城内を死守し夜を迎へたが、午後七時北方彰武方面から宋次大尉の率ゆる〇隊の來援あり、之と協力して今朝兵匪を擊退したものである、尙この戰ひに於て姬路騎兵聯隊の〇隊は小野美中尉以外の將校全滅、下士兵三十名戰死、負傷數十を出した

その日その日

○

青島にまた火の手が揚がる、[illegible]し切つてゐる陸戰隊長の處決は、この邊では何處まで深入するか解らない

○

こんな事件を切つかけに日支間に如何なる事態の發生を見ぬとも限らぬ、南京政府とも威心を要す

○

憎み出し蒐め出しては際限が無い、南支なども何時どんな事件を勃發させるか解つたものでない

○

馬賊だ馬賊だとてバカにはできぬ、自分の利害のためには彼等も死物狂ひになる

○

[illegible]一時に鼓噪、まるで惡魔が一齊に魔界から踊り出したやう

○

愛國[illegible]が[illegible]を襲つて國民の怨嗟を被せつゝ一路滿洲へ、[illegible]の[illegible]兵としては無上の[illegible]だらう

○

南京政府が早くもグニャ〳〵になる、内政關係から對日態度も[illegible]化したといふ、お話にならぬ

○

[illegible]も多事だ、之から益々多事になる、多事になる内地延長主義なんかはチト困りはせぬか

○

總務長官急に更迭、少々意外だ總務長官の休職は臺灣の過去に無かつたとのこと

無絃琴

阿房塔下は[illegible]の前の[illegible]惡るい[illegible]である、時偶々北支の[illegible]が吹き流されて來たのではないかとさへ思はれる位▲十二日午後小開局長紙片一つない机にポツネンと向つ

基隆署の武術始め

【基隆電話】基隆警察署では十七日(日曜)午前十時より署内演武場で武術始めを舉行する

人事

▲幸田成友氏(東京商科大學教授文學博士)十三日午後二時來北[illegible]

怪女 (60)

今井泰三作 京極佳夕畫

て雜誌をひねくり廻してゐる「ホウ……そんな物があるかね」意外と云ふやうな面持で長い頸をキリツと引きしめる「僕を知つてゐる者は決してそんな物を信じないよ」無絃琴子「無聊に苦しむ位ならゴルフでも」と水を向けると「僕は納稅時間中役所の自動車に乘つて淡水行がやれる程大膽でない」とある▲明大野球部投手[illegible]中の花形八十川選手は父危篤の電報で釜山へ急行したが容態もよく快報近い中、御安心乞ふとの消息を本社へ寄せて來た。

「やつたな」

と、私は思ひました。

「さうだ、岡田として、男としてこれよりほかに途はないのだ!」

さうも思ひました。

そして喝采の氣持は私を興奮へと導いたのです。

岡田は勢ひに乘つて續けざまに五つ六つ英子を打ち擲りました。英子は抵抗しやうともしません、彼女は打ちのめされて、そのまま顏を伏せて、額を茶色のテーブルクロスの上につけてしまひました。

彼女の平常の性行から、こんな場合負けずに[illegible]ら、どうしていてゆくかと思つたら、[illegible]は案外の光景でした。これは少しはたの者は誰も默つて見てゐま

した。初めは彼等も多少岡田を宥めかすやうな意味で笑つたりなどしてゐたのですが、英子が女らしくもなく、あまりにつけ〳〵と言ふものですから、知らず〳〵のあひだに、反感めいたものを抱き始めてゐたのです。そして事件が最後の爆發に至つても、誰一人英子をかばつてやる者も、岡田を諫める者もなかつたのでした。

——これは或ひは英子の誤算だつたのかも知れません、彼女は[illegible]然岡田の腕力を想像しなかつたわけでもありますまいが、そんな事があつても、まさかはたの者が默つては置くまいと信じてゐたらしいのです。それには私が第一の目標であつたらしいやうです。私が[illegible]然として岡田に立ち向つて行くだらう事を固く信じてゐたらしいのです。

しかしさうした期待は見事に裏切られて、私も無造作に[illegible]つた彼女でした。私は彼女の心中を考へて悲慘な淋しさを感じました。が、一方でさうしてまるきり傍觀し通してしまうのも、何となく濟まないやうな氣もしました。

がまるきり抵抗をしないで顏を伏せてゐるので、多少張合ひ拔けがしたか、五つ六つ拳をおろしたきりで手を引きました。

「言はして置けば、出放題に勝手な事ばかり言やがつて——」

改めて腹立たしい一瞥を、打ちのめされた英子の後頭にくれて、彼はプイと部屋を出て行つてしまひました。

「ハハハハハ」

岡田の出て行つた後を見送つて何の意味ともなく笑つた者がありました。しかしさつきのやうにそれに和く笑ひ聲はありませんでした。パチリとまた碁石の音がしました。

「少しやり過ぎたやうだね……」

倶樂部の長老株と言つた一人の登山者が、いくらか慰め顏に英子に言ひました。

英子の返事がありません。彼女は泣いてゐるのだらうか?

それなり少しの時間が經ちました。

私はソファーから起きあがつて彼女の方へ歩いて行きました。

立つて行つて岡田をやつつけてやらうか——

さういふ氣も起らないでもなかつたのですが、自分の非力を思ひ切つて、我れ乍ら我が勝手にに呆れて居たのです、この、そんな女の爲めに自分がさうした冒險にまで突き進んで行つたところが、それは明らかに出る者以上の何物でもないのだ——

私にはやつぱり岡田の行爲が痛快だつたのでした。そしてその岡田の行爲は、ちつと其の[illegible]な恰好で額をソファーの上に置きました。

が、何となくむづ痒いものが、心臟の邊りにうじ〳〵してゐた[illegible]

岡田は彼女を殴つたものの、彼女

大元帥陛下の御英姿（陸軍始觀兵式にて謹寫）

水戸訓導夫妻 肅やかな葬儀
けふ福州居留民會葬擧行
獻欷の聲、場に滿つ

【福州十三日發本社特電】故水戸訓導夫妻の葬儀は十三日午後三時から福州日本居留民會樓上に於て居留民會葬をもつて盛大に執行された、故夫妻が邦人教育のため福州に派遣されて以來二ヶ年、その間相愛協心して兒童教育のため

獻身的 に盡瘁しつゝありしに、無秩序なる支那の現狀に乘じ兇暴あくなき反日會員に反動派に狙はれて去る三日平和なる小學校内に於て慘殺されて以來十日その間在留民は内外人の別なく今更ながら支那當局の無力に義憤の涙をそゝりつゝあるが、國論は期せずして沸騰し、輿論は囂々たらずの聲全國津々浦々になりひびく、この秋福州に於てはせめて故人の死を犬死に終らしむ可からずとて前日來より嚴肅盛大を期して

國家的 の葬儀の日をまつた、葬儀からは木下總務長官代理赤堀學務課長、教育會長代理として赤堀課長が臨席、故水戸氏の令兄水戸勝郎氏は遙々内地から夫人の實父前川孫一氏同夫人と共に來著して靈前に立つて更に一層涙を新にした、式場は更にしめやかである、光輝北の日大も悲しんでか泣いて一時間前雷雲となつた遺骸二つは遺族の手に捧げられて祭壇に安置されれば、式場は粛として聲なく、感慨の參列者いづれも

義憤の 涙に咽ぶ、邦人側代田村總領事、山田憲兵隊長、小林、林各民會長、山田巡査、山下商船各支店長、大岡知事等各民會副會長はじめ在留邦人殆ど全部參列したが、師を失つた小學校兒童のなげきは一しほあはれをとどめた、支那側も官民を感じ厚に慰霊の意を表してゐるので政府委員の列して在留民會館の中に溢はづかしさうにしてゐるも人目につく

靈前に は太田臺灣總督木下總務長官の花環、供物をはじめ各方面の供物所せまき迄にならべられ、國家に殉じた靈をなぐさめてゐるのは在留民に偉大な感激を與へて些々たる國威の力強さを思はしめた、この供物を前に赤堀長官代理の弔詞をはじめ中村總領事、小林民會長、石井學校長、田村總領事、小兒會長代理等交々立つて弔詞を述ぶ、讀經共に下つて來賓の極まりなき哀愁場内に滿つかくて遺族の燒香について各參列員一同ねんごろに

告別を なし同五時夕陽閩江のかなたに沒する頃とどこほりなく式を終つた、この日萬一を慮り海軍陸戰隊兵に[illegible]を特に警戒を嚴にし日本領事館内外は支那[illegible]固め我艦隊中の軍艦から陸戰隊長はじめ各將校多數參列した

遺兒と遺骨を 携へて歸臺
十六日大球丸で

【福州十三日發本社特電】故水戸訓導夫妻の葬儀を滯りなく終つた遺族水戸勝郎、前川孫一氏並夫人は遺兒勝子（二）並に二つの遺骨をたづさへ十六日出帆の大球丸で歸臺の豫定である前赤堀學務課長も同船歸臺の豫定、基隆著は十七日である

居留民感謝
赤堀課長の參列に對して

【福州十三日發特電】故水戸訓導の葬儀に参列のため赤堀學務課長の派遣された事を心から感謝してゐる、文字通り一衣帶水である臺灣からこの機會に南洋よりも南支に目ざめすべての施設について臺灣に動かんことは在留民一同の熱望してゐたところであるだけに居留民は大いに感動して何等かの形式に於て感謝を致すやうとより協議中である

南大將 首相と打合

【東京十三日發至急電】南陸相は十三日午前十時首相を訪問し[illegible]

汕頭廣東の督府病院
本年度は三萬餘圓の赤字

對岸における總督府病院の内汕頭廣東の病院は昨年十月下旬より支那人の診療者一人もなく時局の影響を受けたるもので[illegible]に至るも反日會の壓迫が暴行を加へて追ひ返すので十一月以降は在留邦人のみとなり爲に本年度内に三萬五千圓餘の赤字を出すので當局は目下善後の方法を攻究中である

東京市電 六百名罷業
廣尾車庫從業員

【東京十三日發電通】東京市電廣尾車庫從業員約六百名は十三日朝始發車から一齊に罷業を開始した、原因は前期二十八日同車庫目[illegible]

山砲隊入隊式

臺灣山砲兵隊入營兵百三十二名及び歩兵第一聯隊入營兵五十二名は十二日午後五時十七分臺北驛著列車にて著北したが山砲入隊では十三日午前十一時十分より入隊式を擧行、當日來山砲隊の訓示があつた

地方長官會議
十三日開會

【東京十二日發電通】犬養内閣最初の地方長官會議は十三日招集十四日より三日間に亘り開會するに決した

吉黑兩省の 御膳立成る
日支親善に貢獻すると
馬占山より傳へ來る

【長春十二日發電通】チチハル、海倫間の電信連絡は二年振に恢復したが、海倫の馬占山は我が鈴木○隊長に對し近く于兵を率ゐチチハルに乘込み治安維持に努めると共に吉林黑龍江兩省の政治獨立國家建設の御膳立が成る事となつた

呉上海市長の 回答不誠意
日報侮日記事問題
重ねて陳謝を要求

【上海十三日發電通】上海民國日報の不敬記事に關する村井總領事の抗議に對し十二日市長呉鐵城より回答して來たが同回答の字句は記者の不注意に依るものであるとの不誠意極まるものなので村井總領事は不誠意だとし重ねて陳謝と嚴重取締を要求する筈

鈴木參治氏來臺

三重縣の名納衆議院議員鈴木參治氏が來臺した、用向きは將來臺灣方面へも自校卒業生を振向ける方針であるが臺灣が如何なる知識人物を要するかの視察をするにあるが同時に同校研究費の資金を得るため現代大家の書畫頒布展覽會をも近く行ふ筈であると

米通告に對し 國府が回答
米國公使館を通じ
十二日發せらる

【南京十二日發電通】不戰條約擁護に關するアメリカの通告に對し國民政府は十二日午後八時アメリカ公使館を通じ回答を發した、その内容は

一、滿洲事件發生以來今日までの事態から見ても其の全責任は日本側にあることは米國政府の夙に詳知さるる所なるも特に之に重ねて貴國の注意を喚起する

二、米國政府は不戰條約の權威を絶對に維持すべきである

三、滿洲事件發生以來支那側の執つた態度は若し日本の野心が不戰條約をして空文に等しからしめ米國が不戰條約の精神を擁護せんめにおいては極東の平和は破壞し去られるであらう、この點特に注意を喚起すると共に支那の態度に對して全幅の同情を與へられんことを切望する

航空費へ五千圓寄附
本庄司令官へ宛てて

【大阪十二日發本社特電】大阪市に於ける航空費一般取引所東區北浜二丁目當和鶴介氏（三）は今次滿洲事變に於ける我空軍の活躍にいたく感激し本年が恰も同店創業五周年に當るので之が記念に滿洲軍航空費の一端として五千圓を寄附する事を決定し、十五日大阪日本電報通[illegible]

赤字公債六千萬圓 改選後議會に提出
議會解散となれば
滿洲事變費は緊急處分

【東京十三日發電通】本年度の赤字は六千萬圓以上と、はれ滿洲事變費約二千萬と見込まれてゐるが、何れも財源無の爲め公債に依るの外なく、休會明議會に公債法を提出することになつてゐる、然るに議會解散の場合は何れもイ成立となつて處置に困るが、事變費のみは憲法第七十條に依つて緊急處分を爲し得る、然し赤字公債は憲法第七十條に該當せずと の議論多く、大藏省においては研究中であるが、休會明議會を解散し[illegible]月二十日頃に選擧を行ひ憲法第四十三條に從つて特別議會[illegible]召集し後承諾を得べしとの意見が有力である

多門○團 一齊に進軍
兵匪一萬五千の殲滅を期すべく

【錦州十二日發電通】遼中、台安方面に據據する三節、海青林、老北風の率ゆる兵匪約一萬五千は依然又○○滿鐵線の爲め多門師團長は○○旅團及び騎兵の野砲隊は遼陽、○○附近より一齊に西方に向つて進軍を開始した、十三日より攻撃開始し一週間以内に遼中、台安一帶の兵匪を殲滅する豫定である

奉天附近に潛入 襲撃を計畫

【奉天十三日發電通】法庫奉天附近に三千の兵匪潛入して來り、一部を以て攻撃するため加藤支隊を法庫に派し十日朝十時行動を起し、[illegible]法庫方面の兵匪に向つて攻撃を開始した

三巨頭就任まで 過渡的辦法
特務委員會を組織

【上海十二日發電通】首都をガラ明にして奉天に集つた新政府要人連は十二日午前十時佛租界の孫科邸に集合し、二時間に亘る重要會議の結果蔣介石、胡漢民、汪兆銘の三氏が最短期間内に南京に出て就任せねば中央は弱ひ無政府狀態に陷る惧れあるので、右三氏就任前の過渡的方法として委員九名の中央政治會議特務委員會を組織するに決定し孫科、李宗仁、陳友仁、宋子文、朱培德、李烈鈞、何應欽、陳銘樞、于右任、馮玉祥をその委員に推挙することとなつた、右特務委員は十四日の中央政治會議で正式に決定する筈である

空陸から 徹底的殲滅
新立屯、黑山方面で

【奉天十三日發電通】打通線の兵匪は依然新立屯、黑山方面に出沒し在上海の各要人は十三日午前九時半發特別列車で歸京外交、財政問題に付き愈々政策の努力を開始する中なる爲め我井○隊は飛行機の協力を以て十三日より愈を[illegible]徹底的殲滅を期してゐる

株子山で 兵匪擊退
激戰三時間で

【錦州十二日發電通】株子山の兵匪討伐に向つた川村部隊、寺田部隊長の率ゐる騎兵隊は激戰三時間後兵匪を擊退せり

臺灣愛國號に 千圓を獻す
臺北市内の匿名氏

臺灣愛國號の建造にとて市内匿名の某氏は十二日夜臺日寄附會員を訪れ金一千圓を寄託して去つた由で同氏は其の姓名なる以上は[illegible]心的に深く感激し受話する事にした同飛行機に對する臺灣は官民の協力で在臺邦人の活動と相俟ち全島的に民の赤誠を集めつつある

滿洲の門戸開放
英國から日本に希望

【東京十二日發電通】スチムソン氏は滿蒙の新事態に關し不戰條約に九ケ國條約を引用して日支兩國政府の注意を喚起したが英國はこれに倣はず何等抗議を發しないことに決定した、即ちイギリスの意向は日本の聲明は去る十月十三日聲明せられたる所なれば此の際新に通牒を發する必要なし但し將來滿洲の門戸開放に就き適當な保障を與へられたいとの希望を松平大使を通じて十一日正式に日本政府に通じ來つた依つて政府は滿洲門戸開放機會均等の根據に立つて全部の通報に答申するものなる旨を聲明する旨十二日午後松平大使に訓電英國政府に

馮玉祥一先づ 南京に歸る

【上海十二日發電通】常熟滯在中の馮玉祥は十三日午前九時半中央政府の要人と連れ共に向けて一先づ南京に歸ることとなつた

織田、南部兩選手 來月四日著臺
豫定よりのびて
日程も大體決定

織田幹雄、南部忠平兩選手は愛國婦人會の招聘によつて十六日來臺の筈であつたが兩選手の都合によつて二月一日神戸出帆の便船にて四日來臺することに變更せられた兩選手來臺後は小公學校教員のコーチに當るが各學校團の依頼によつて一般選手のコーチをもなす筈で日程は大體左の如く決定さる豫定である

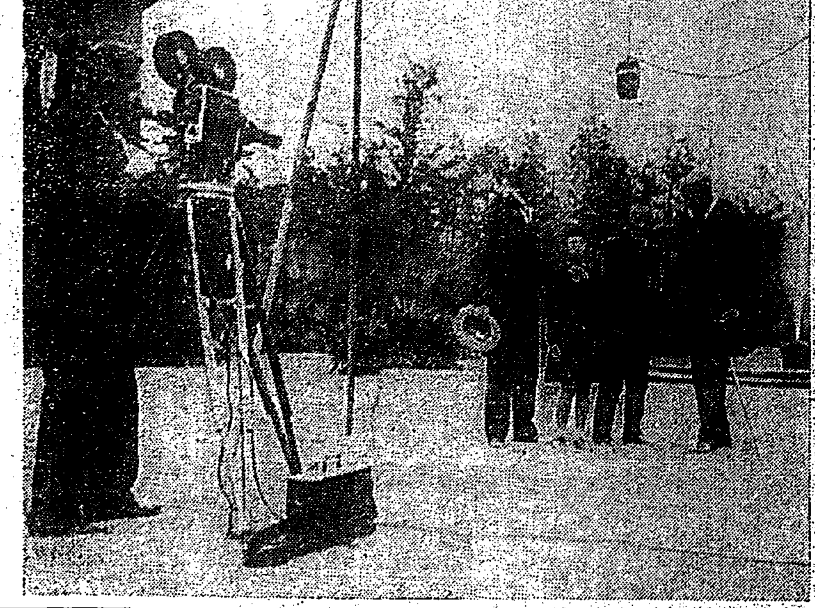
臺北　五日、六日、七日
高雄　八日休養、九、十、十一日
臺南　十二日休養、十三、十四、十五日
嘉義　十六、十七日
臺中　十八日休養、十九、二十、二十一日
新竹　二十二日休養、二十三、二十四、二十五日
臺北　二十六日休養、二十七、二十八、二十九日、體協主催一般選手コーチ
三月二日　臺北發歸阪

姦夫を縛上げ 石鑿で亂打
姦婦の夫が兄と二人で

【中壢電話】十二日午前十時半頃中壢郡楊梅庄楊梅九十彭與蓮方に於て同庄二七五劉阿蔣（三）の妻は同庄二市東四四番阿北（三）と情交關係があると新屋庄九斗一一五吳文和が夫劉に密告したので劉は兄の解り現場を押へんと兄と共に石鑿二本及び麻縄を携へ彭與蓮方に到り、姦夫高阿北を後手に縛り石鑿二本にて滅多打ちにしたため高は人事不省に陷つたのでもはや目的を達したものとして其場を引揚げんとする所を急報により高の分室主任が現場にかけつけて犯人を取押へ、目下楊梅分室にて取調べ中であるが、事件發生と共に新竹州警察部長も急行して現場を檢證した

留置場破り 格鬪の末捕はる
重大犯人として取調

十一日午後七時頃臺北北署に留置中の大内、陳阿木は看守の隙を窺ひ逃走したるも間もなく捕縛されたが臺北北署では大動員を行ひ、陳阿木は石門一木島人住宅を發見誰何すると矢庭に短刀をふりかざして抵抗し格鬪の末逮捕された、その[illegible]として來たので爭ひず聽くれ一つの大據點の末逮捕し北署で取調べた結果右は新東北成八四番地阿呆（三）と云ひ臺北東部警察[illegible]十一月中台北臺東部警察課に留置



犬養首相のトーキー吹込

今や日本が世界各國より滿洲事變その他で興味の中心となつてゐる爲米國からフオックス映畫會社が派遣されたニュース班によつてトーキー・ニュースに收めて全世界に犬養首相の姿と聲を紹介すべく十二日午後二時から永田町の官邸の庭でトーキー撮影が行はれたが日本首相の[illegible]大養首相と握手せるは米大使[illegible]

佛内閣員全部 辭表を提出
ゾーメ大統領受理

【パリ十二日發聯合】本日午後八時二十分首相ラヴァル氏は内閣の總辭表を出すに決したと發表した

再組織命令か

【パリ十二日發聯合】ラヴァル内閣は今夜大統領ドゥーメ氏に辭表を提出し直ちに受理されたゾーメル大統領は十三日政界[illegible]の意見を徴した上多分ラヴァル氏に内閣再組織を命じるものと豫期されてゐる

三千餘名の 共產黨員を逮捕
巴里で失業者大示威

【パリ十二日發聯合】フランス首相ラヴァル氏は十二日午後十時大失業者隊は失業手當を要求して大示威運動を行つたが、右の結果警官隊は約三千餘の共產黨員を逮捕した、これ[illegible]

基隆重砲兵大隊の 入營兵十四日入港

【基隆電話】基隆重砲兵大隊新入營兵は十四日入港の蓬萊丸にて到著、市民は驛前廣場で出迎へ歡迎すると

武藏山除名
新興力士團結束を固む

【東京十三日發電通】武藏山の行方に就き新興力士團は協議を遂げるため[illegible]武藏山と會見その結果十三日午前一時武藏山は除名することとなつた[illegible]

乃木講演會

十三日夜七時より西門町淨土宗臺灣別院に於て乃木講演會を開催、左記講演及び餘興がある

一、神ながらの道に續く世界の卷
一、日本人の現在及び將來
餘興
一、地藏加護

基隆商工信用組合總會

【基隆電話】基隆商工信用組合は十七日午後二時から公會堂で第十回通常總會を開催する

ウェルカム

▲業界漫談[illegible]

會葬御禮　工藤ラジ　親戚友人一同

りん病　世界一療法

商況（十三日）

米況
正米市況
[illegible]

大阪期米
[illegible]

東京期米
[illegible]

神戸期米
[illegible]

株況
大阪短期
[illegible]

各地氣溫（十二日）
[illegible]

入港概況
[illegible]

殘月譜（76）

志乃田廸司作　淸水三重三畫

昧首（三）

「…の喉い」三千ケ浦は立ち止まつて云つた。

「だけどなあ、いゝ旦那さまだぜ」

「憎いか？」

「憎い。」

「その代り、今後の旦那さまの事を考へてはよう、なで、突入で、介抱で、その上氣いよ。」

「强い！」

「さうさ。」

「鳳云へ。」

「何だつて？」

「さうぢやねえか、うちの旦那さまに木伯街道で親方に認められた時、助けて貰つたと云ふぢやないか」

「そ、そりやさうだが、師匠をかくして困たのさ」

「さうかい。」

「ぢや、何から云つても不思は」

「時が御つ、さ、三千ケ浦は聞取。どこだ、何處の部屋だ」

「兄哥！」

「えゝ、ちれつたいな、女だよ、美しい女の肌だよ、それ前金だ、手付だ！」

「仕がない、そんなら、伊江さまは大切にしてくれるな」

三千ケ浦、泣き聲だ。

「おゝ、承知した。」

「あゝ、どんな達人でも、樂に首は掻かれるさうな、なむまいだ、なむまいだ。」

「おい鯨取！早く敎へて臭よ」

「今だ、もう直ぐだ。」

三千ケ浦、切ない聲だ。

引出された首を、酷せぬやうに引き開けて、鯨三は廊下を辿つて行つた。

瞻頭が、がく／＼する。

こんな所なら、酒でも飲んで來ればよかつたと思つた。突氣が背筋を走るのだ。

三つ日の部屋へ敎へられて來たのだ。

その部屋だ。

鯨三は指先に唾をつけて、障子に穴を開けた。

龍之助も、よく寐入つた姿。

鯨三は、シツ、と唇せぬやう障子を開けた。

「…あるまい。」

「だが、伊江さまは無からう？」

「伊江？うん、今夜などお謝取りやまく惣之助を斬り取つたら、伊江はわしが育てるのだ。」

「な、何だつて、おかしなことを云ふね。」

「さうだよ。ありや、かわいい、わしの妹の子だ。」

「えつ、そんなら、あの子は旦那さまの、甥子かい？」

「さうぢやない、本當の子だ。」

「おかしいなあ！」

「おかしくないよ。但之助の親爺代は、わしの妹だつたのだ。」

「ぢや、旦那さまは、兄哥の妹聟ぢやねえか。」

「さうだよ。」

「それで、どうして親の仇だ？」

「親の仇ではないが、その仇の子だ。鯨三は酷いつまんで、訴をした」

「ふーむ、兄哥、そりや悪い親兄だぜ。」

三千ケ浦、鼠賊になつた。

「仇敵は死んでるぢやないか、旦那さまには罪はねえ。」

「いけないんだ、おてるさま、わしの女主人が、惣之助さまに惚つてるんだ。」

「結構ぢやないか、あの旦那さまには勿らぬ方の女が無理だ。」

「いけない！悪縁だッ。」

「えツ、さては、兄哥、惚れたの

墮落した舞踊色々

新民謠の流行と舞踊

小寺融吉

過去に於ける日本の舞踊の墮落振りに一の長所は酷い內容を持つほど進歩したと云ふ事であつた。始めは下に手の舞ひ足の踏む所を知らず、と云ふ程度の、原始的な郷野なものが、人間の酷い喜びや悲しみを現はすほどまで進歩したのである。この點から云へば現代のエロチシズムとナンセンス一方の舞踊は實に墮落したものだと云へる。二つには舞踊と關係ある他の藝術と巧に綜合の實を擧げた點でたとへば衣裳や道具の製作上の技術や詩と舞踊の有機的な交渉を擧げる事ができる。この點から云へば現代の舞踊家は、極端な墮落に近して酷んだと差判である。三つには舞踊家は舞踊家としての精神を忘れた事であつた。たとへば神小の舞踊を行ふに當つて、猥褻な所思をしたのが、舞踊の墮落した時代にも、名家を留めた、そしてその行ふ所のものに話題な、必死な氣分を伴はうになつた。また修識ある者は元より充分に認めた。學問のない者も

邪念なく

舞踊の世界に入れした。凡てが凋落であつた。いやしくも低俗大衆に媚びるやうなそのことはなかつた。かくしてこの點から云へば今日の舞踊家の多くは墮落してゐないが、我々の敬者へない。そして舞踊は祭りであるかも知れぬ。日本で存在した日本の舞踊の世界に誇るべき長所は、郷念にも今日では勝を失つたが、これは一時的現象であつて再び昔に劣らぬ時代が現出するに相違ないと云ふ話である。

年中行事

「郷土舞踊」い。隣行の舞踊は德川氏と共に衰へたあとで明治初年の濁つた經濟界の中の舞臺のため大衆を迎したが隔近に至つて復活し始めたこれは自然に時が來たのであらうか。日本首都の「民謠」の會が促進したものであつた。隣日では昔は擬食あることに舞踊が行はれたのだが、後に舞踊を以つて最大の祝食とした。一昨年以來の舞踊りの復活は、實に驚くべきものがある。この不景氣の時代でさへ盛りである。中國、九州、關西、東、等に渡つて新聞社や公共機關の援助の下に大々的に花々しく行はれた。今後も一層盛大に行はれることであらう。また現在は各地に新民謠が大流行を來してゐるも流行の峠に登りついてたうとう下るのではないかと思つてゐたが、まだ／＼峠の上に足掛できさうな狀態だと云ふ話である。各地方で舊年が昔ればに直く飲び直く踊るといふほどになつてきた。この

新民謠に

ついては、いろ／＼非難もあるし、醜村をして淨穢なジャズの世界に入れるものだと云ふ說もある。この說は否定できない。而も非難は一つの流行を生み出したのも必然である。新民謠は今や作者も勝手に少しも云へない。罪もあらうが功もある。功罪いづれが大きいかと云へば、譯にも返事は出來さうもない。新民謠に地に臨つて、あれば過程と稱し得るかも云へない。だから何でも大衆に迎合して踊るかはなるまい。各地到る處に土地々々の新民謠がある事に事情である。そして多く舞踊を作つてゐる。これら現在の新民謠の數をとりはやがて時が解決する。そして日本の將來の舞踊の發達のために邪魔になる所があらうか。大局から見て質直になる所が多いであらう。自らをどうる舞踊と

舞臺上の

の專門的舞踊とは、私も何から論じてきたやうに、併行して進まなくてはならない。づれの一方も進歩しないものである。前者が新民謠に依つて、復活してきたやうに、誠に喜ばしい事であらう。新民謠の流行に於てはなくてはならぬと思ふ。舞踊は何處の舞臺もある事だから、いまかしの舞踊を多く利かないものである。從つて不しだらな生活を送つてゐる者の舞踊にも何か現はれる。現在の多くの舞踊家が皆にその點で不愉快である。古人は酒色を避けた。今時は勿論、日常の平凡の一段一動に平生練に練つたので、いざ舞臺に立つた時は、それこそ文字通り全人格的努力を傾倒したものであつた。これは日本の舞踊の大きな美點の一つで、今はその點は絕えたかと思ふ。將來も復活し得るかと思ふ。（完）

「一、好色、博奕、大酒、三味線は、古人之を「四戒」と、有名な花傳書にもいつてある。古人は此の心を以て踊いてゐる

名家敗退將棋（十八）

（臨時手合）

先番　△六段　石井秀吉

▲四段　志澤春吉

△三四步▲同銀△三五步▲二四銀△三四步▲二六銀△一七玉▲一五銀△三九金▲三九角△二六香▲同角迄にて志澤氏の勝

▲石井六段日く三三步は他に致し手がない場を處理にするは非常に辛いが、結い逃げはありません、三四步は角を引いて二四銀と受けられて指切である

▲志澤四段日く一六桂と攻めるに桃になれば必勝でよつかシイ將棋であつたかと在が働けた事が素ひを作る原因となつた

▲大橋八段評　上手九八飛と低く受けたは堅固であるが北形で五筋で困る場合として中央の位は特に一手損を上げるが必要であつた下手は直ちに五五步と仕を張る好機を逸した罪りから五桂の跳ねが無理であつたと思ふ上手は此の際にハツカシクなつて漸う苦境となつた上手は此處に六九香と八五桂と指川して右々有利となつたが最も大切な決戰時に六九香としい無を指して其後手亂れとなり次第に形勢を利かされて敗れたは殘念である

吉谷樂雁一座

十三日から榮座出演

高闢の吉谷樂雁一座は名古屋の松山本樂部では木年から外興を販じ內興行を打ち揚げて十三日基隆入港の朝日丸で乘り込んで來た。上陸して町廻りなどの元興を省いて大衆的入場料に收めると云ふ。初日に開演する事となつた一座の特長は新しい脚本と舞臺裝置で伴奏の誠氣と相俟つて現代人の心にピツタリと喰ひ込まうと云ふところにあるそれが人氣を呼んで臺北でも既に町會、婦人會等團體申込みが多數にあり前評判を呼んでゐる。初日の藝題は左の通り

金田龍作「長屋行進曲」四場、吉谷五十一作「お葵さん」一場、岡本綺堂作「修禪寺物語」二場、久米正雄作「彼の女の場合」一場

（寫眞は吉谷樂雁の演技振り）

公開欄

（本欄は自由投書を歡迎する）

圖書館週間に際し　私の感謝と希望

文學士　平野廣治

◇此の一月十一日(月)より台灣に於ける最初の圖書館週間が催される。讀書普及に取つて最も意義深い催しである。此の際に於て圖書館利用者の立場から私の感謝と圖書館への希望とを申し上げる事によつて、私達の圖書館として大いに之を寄し、育むの思想の一端としたいと思ふ

◇私の現在の仕事――臺灣第三代の民政長官故後藤新平伯爵の傳記資料の蒐集に當つて居るのであるが――は特に圖書館と云ふ文化機關の恩惠なくしては出來ない事である。幸に尾崎氏を通じての山中館長の好意によりて其の完成に近づく事が出來た。斯かる史料に關するものは、係めて古く、極めて廣く蒐集する必要上何うしても個人の藏書丈けに依る事は困難の場合が多い。其れ故必然圖書館と云ふ倉庫、若くは財團の大組織に集められたる書籍に依らなければならなくなつて來る。私の仕事の如きも殆ど大部分は督府圖書館の恩惠によつた事を思ふと實に感謝に堪へない

◇當地の圖書館が內地と異り無料で公開せられて居る事は最初來た人に取つて奇異に感ぜられる程である。併し極めて高價な書籍の到底手に入れる事も出來ない樣な凡ゆる方面の書物が無料で見られる。これは何んと云ふ有難い所だらうか。書物も相當に廣く集められて居り、特に本島史料に關するものは意外な逸品を集めて居る樣である

◇其れだのに利用者は內地に比して除り多いとは云へない。私等は內地に居た時、名古屋では午後の二時頃から晩の六時頃まで待つた覺えがある。帝國圖書館では朝五時頃に起きて朝飯を濟んで出掛けて行つて二丁も三丁も先きの方に並んで八時の開館を待つた事が何度もある。それでも開館のベルが鳴つて入館出來るか何うかは保證の限りではなかつた。都合の悪い時には朝早く出掛けてお晝過ぎに漸つと入館すると云つた樣な事もあつた

◇それを思ふと臺北に於ける學都として讀書階級の最も多き筈の臺北の圖書館としては少々淋しい氣持がする。或は讀書階級が最も多いと云ふ私の前提が間違つてゐるかも知れない。何故かそれは市內の書店が其れを物語つて居る。何處か書店に行つても先づ店の先頭に眼つて居るのは大衆雜誌である。其の次には俗的な安價本であり、通俗小說類である

◇要するに『文字を通じての娯樂もの』と云ふものが各店の大部分を占めて居る。少し固いものになると陳列の奧に手もふれない有樣である。之れが顧客に依つて動く書店の姿であるとすれば臺北の讀書階級も君に恥かしき限りではないか。勿論これは全般的な評であつて熱心な人はドシドシと內地に註文して居られる事と信ずる。何れにしても圖書館の利用者が除り多くはない事に疑りはない。之れは讀書階級の熱度の如何を離れて圖書館其のものにも多くの不足の存する事は何人も認めるであらう

◇第一此處の圖書館は圖書館であつて圖書館ではない。彼の建物の如きは本來は明治四十年二月頃彩票局にして作られたものであり、一般閲覧者のある所が抽籤場であり、今の書籍の出納窓の所が抽籤室のあつた所で、其の他の構造も大體其のままを圖書館に流用せられて居る樣である。勿論無いよりは良いかも知れないが、圖書館は圖書館としての樣式と設備とを必要とする。臺北市程の大都市にして一個の圖書館も無い事は至極殘念である。之れが熱心なる當局者の少い大原因ではないかと思ふ。之は圖書館の方々の熱心と平行して片時も早く新築するなり改造するなりしなければならない。大圖書館の無い圖書館は全國に先づ珍しいかも知れない。雨のそぼ降る日等薄暗い穴の樣な所で讀書して居る熱心家を見ると餘りにも氣の毒であり似くすずに居られない

◇次に今一つ私の希望し度い事は圖書館に附屬して食堂を設ける事である。無料だから何時でも外に出る事が出來ると云ふ人があるかも知れない。併し督府附近に出て安價に食事する所は未だ未だ臺北には除り見當らない。而かも借り出した書物を一旦返還し、外で食事をして來て又借りる。それは餘りにも時間と勞力の不經濟である。隨つて當館時間は大體吾人の食事時までと云ふ事になつて了ふ。內地では大抵の圖書館に食堂、休憩所、喫茶室等がある。そして一日中書物にばかりかじりついて居る事は出來るものではない以上は誰れしもが自由に散策出來る樣な花園でも設けて貰へたら、讀書家達に取つて數倍の能率を發揮せしめる事となると思ふ

◇勿論斯うした希望は鳳毛の數人のない無料圖書館に對しては除り爲が良過ぎるかも知れないが圖書館週間に際して當館者としての素直なる希望が當局者及び讀者等によつて何等かの具體的なるものとせられるならばと云ふ祈願に外ならない

總督府圖書館圖書目錄

（一月九日新着）

滿蒙問題と我大陸政策　佐藤清勝

世界經濟の話　松村金助

日本經濟年誌　全國經濟調查機關聯合會

金融國と戰後における金本位制　エリオツト・スミス著　小谷嶋太郎譯

最近の海外移住地　拓務省拓務局

旅で見た自然界の不思議　宮下正美

入學　小山榮三

西洋園藝の秘密　アランデイ著　澤如一譯

世界航空大觀　陸軍航空本部

和漢衛生史　服部敏良

ラグビーのABC　スポーツ研究會

地方行政讀本　東京朝日新聞經濟部

日本農業年鑑（昭和七年）　富民協會

新の商法　永田厚平

商業新聞　時事新報社經濟部

新刊紹介

◇物理化學要（理學博士大澤勇吉著）本著は元臺內諸國に於て發行せられる多くの物理化學書は初めて物理化學を修めんとする者には餘りに物理學的であり初學者にはよつと開けて見て顏がたたない點に鑑み中等教育の化學を學べる者又は物理學の修了者にわかる程度を標準として物理化學の中で化學を修める者に有益であると思はれるものを取りまとめて編纂したものである。本書によつて物理化學の知識を補充するに充分であらう（菊版洋裝二八〇頁定價二圓二十錢　東京市神田區神保町丸善出版）

◇理科遊びと玩具の作り方（平田理學士秋田保郎共著）今日の教育の通弊とも云ふべきは教育の方法が兒童の生活と全然一的に發展させる樣に改善せられない爲に各教科の教育が孤立することである。今後理科、手工、圖畫等の如き教科は充分に連絡し補給するやうに改善せられねばならぬ。此の如きことによつて大いに改善の目的を遂行することが出來るであらう。本著は日常容易に實驗の出來る理科材料を兒童の教科書に關係させて之を樂しく理科手工の連絡を工夫して平易に實驗に面白く容易する方法を發表したものである。本書によつて理科遊びをなし理科を生活化する上に非常に有益である（四六版二四八頁定價八十錢　東京小石川區水道端一ノ一〇、文化社）

臺日案內

書籍　全科一一圓五十錢（三十五錢）十行以上一行五錢

藥種商　エナモル　臺北市…

醫院　藤井齒科醫院　小林醫院

內地土產　ボンカン・サボンン　桐田商會

寫眞　初春に寫眞機　新鋭カメラ各種新著

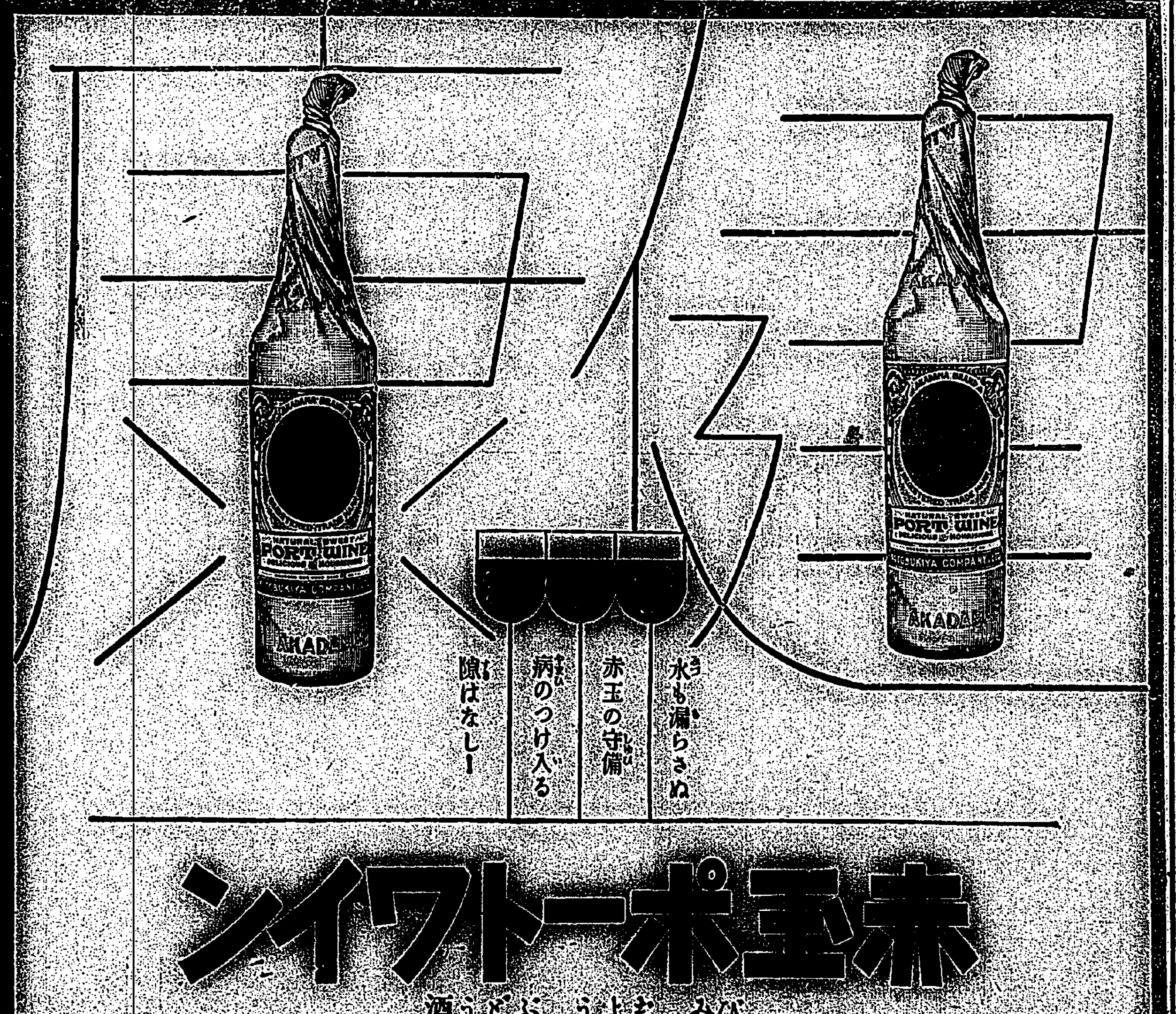
ラヂオ器械　ナナオーラ　ミゼツト受信機　大特價廿五圓也　中川章輔商會臺北支店

電器機具　中山電氣商會

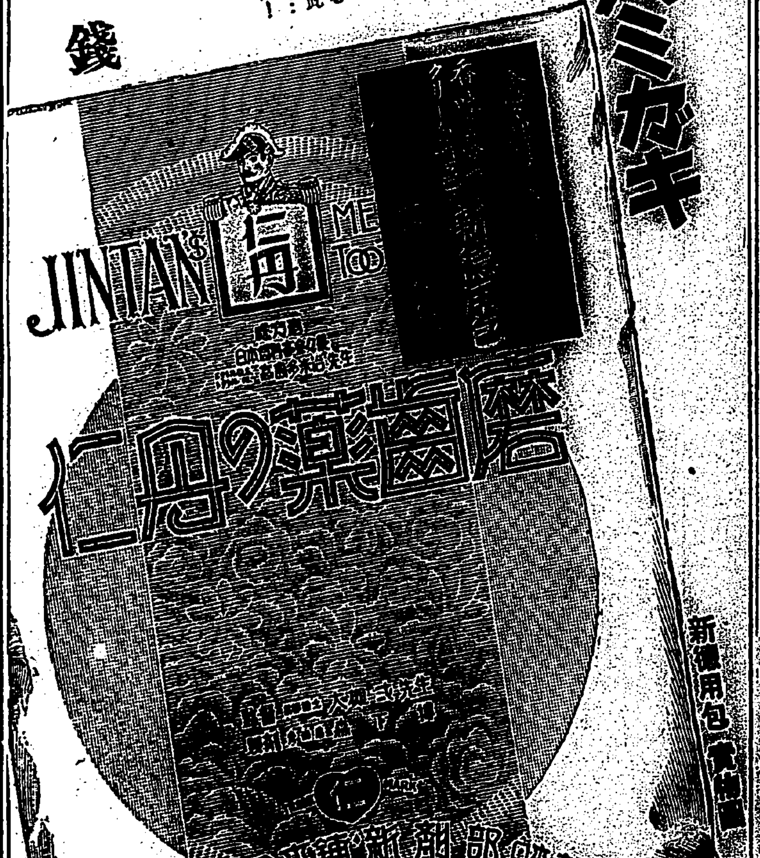
雜件　ベニヤ板　特許商標弁理士　岸喜鑑　慶紙障子紙　栗田商行　藥掛赤瓦　大勉强

一萬分ノ一番地入　臺北市街圖　定價金五十錢　發行所　臺灣日日新報社

志波吉太郎著　廣東語會話篇　發行所　臺灣日日新報社



齒磨界へ新に君臨せる
仁丹粉ハミガキ
齒科醫學者の絶讃を博する仁丹齒磨は
一、高貴香料數種を加へ芳香を充溢
一、爽凉味と泡立の增加に新原料を
一、特に粉の散らぬ樣重質性原料を增加し
品質に於いてあらゆる點に大飛躍せる上に此の最低廉價………全く新界の大驚異！
新德用包　正價九錢



漢文臺灣日日新報

青島日僑爲憤慨華報 不敬事件揭侮日記事 破壞民國日報黨部

日本陸戰隊上陸僑民決死籠城

十三日青島急電。日前東京櫻田門外。不敬事件發生。當地國民黨機關報民國日報。揭載侮辱日本記事。日僑因之。大爲憤慨。十二日。開僑民大會。激昂之餘。午後八時。群至該報館。將其門戶打壞。更湧至該黨部。該黨部有從中發銃者。僑民益激昂。破壞得如落花流水。五階發火。該建物延燒中。午後九時半。日本陸戰隊上陸。僑民返之民團。決死籠城。該建物內無人。似無死傷者。

市黨部發火瞬息烏有 實行委員主行市民外交 全市交通杜絕警戒萬一

十二日青島電。民國日報不敬事件揭載所關。青島日僑大會實行委員。爲大會決議徹底計。決定與總領事交涉。併行市民外交。分四組。到總領事館。市政廳。市黨部。民國日報館談判。午後八時。激昂之千名僑民。大舉入該報館。破壞無餘。並擁至市黨部。將近三階。突發短銃。更爲激昂混亂。五階發火。大建築物遂至烏有。華人舉此形勢。無不避難。幸人命無損傷。保安隊。消防隊。似亦拱手傍觀。九時半。武裝陸戰隊三百名出動。分之民團。總領事館。嚴戒萬一。市中交通杜絕。僑民大隊。先返民團。決死籠城云。

青島日僑大會決議 膺懲不敬事件

十二日青島電。青島日僑大會。爲不敬事件膺懲計。十二日午後三時。開於民團。決議如左。
一、青島市長。宜以最高敬意。公式陳謝。
一、市黨部。破壞國交。宜使解散。
一、民國日報。宜即廢刊。
一、爲目的達成計。宜用一切膺懲手段。使彼自覺。

民國日報侮日記事 吳市長回答不誠意 領事合求陳謝

十三日上海電。上海民國日報。揭載不敬侮日記事所關。村井總領事抗議。十二日市長吳鐵城。所答如左。「該報社。雖經注意。然問題字句。由於記者不注意。」似此不誠意至極。村井總領事不滿。合再要求陳謝。嚴重取締云。

市黨部大火 陸戰隊出

十三日青島急電。市黨部大火災。十二日午後九時半。日本陸戰隊出動云。

臺銀發行券 以次收縮 減五百萬圓

臺銀發行券。客臘二十□日之最高發行額。四千六百四萬七千圓。及至三十三十一兩日。減至四千五百萬圓。一月七日爲四千二百萬圓。八、九日四千二百萬圓。比一時四千六百萬圓。收縮約五百萬圓。目下已復常態。又二月五日。適當舊曆大晦日。臺銀則將客臘認可之二千二百萬圓。以應舊年關之需。舊歲末發行額。豫想在四千五百萬圓。然將歲末。發行意外增加者。因農村關係之生產物賣出。故此舊歲末。亦被相當增發云。

議會或解散則赤字公債 六千萬圓當提出改選後議會 滿洲事變費得緊處分

十三日電。本年度赤字。六千萬圓以上。滿洲事變費。約二千萬。皆無財源。不得不募公債。再開議會。提出公債法。議會或解散。皆不成立。對於處置。茲唯滿洲事變費。得照憲法第七十條。爲緊急處分。但多議論赤字公債。不當憲法第七十條。大藏省。方爲考究對策。再開劈頭。解散議會。二月二十日頃。所行總選舉。照憲法第四十三條。約十日後。三月匆匆。召集臨時議會。赤字公債法。滿洲事變費公債。並令兌換停止緊急勅令。可得事後承諾。但此意見頗有力云。

國府回答美國通牒 切望對華同情

十三日南京發電通。不戰條約擁護所關。美國通告。國民政府。十二日午後八時。經美國公使館。回答如左。
一、觀之滿洲事件發生至今日事態。其全責任在日本。而爲美國政府夙所詳知。特此再喚起貴國注意。
二、美國政府。所宜絕對維持不戰條約之權威。
三、滿洲事件發生以來。中國態度。皆爲自衛上不得已者。若日本野心。使不戰條約。等諸空文。美國不擁護不戰條約之精神。極東之平和。必至破壞而去。此點特爲喚起注意。並對中國態度。切望滿腔同情。

平山知事夫人 開新年會

平山臺北州知事夫人。照恒例。招待州市各課長夫人。於去十二日午後一時。在官舍。開新年會。州廳有係員出席。爲種々斡旋云。

太田總督 視察鵞鑾鼻 入四重溪浴場

太田總督。十二日午前八時二十五分發高雄。途中在屏東其他各驛。受官民迎送。午後九時四十五分抵潮州驛。在是地由官民出迎之中。換乘自動車出發。午前十一時十分在南勢湖。休憩。展望洋々海原。然後出發。零時五十分。抵恒春郡役所。午餐休憩。一時三十分出發。向大板埒。觀捕鯨場。一路向鵞鑾鼻。午後二時二十分。抵於臺經無線電信所。林業試驗所。種畜場通過恒春。午後五時。入四重溪浴場。

高雄市協議會次日 就水道費歲入出討論 依例平穩裡散會

高雄市協議會第二日。去十二日午前九時三十分開會。附議第四號特別會計水道費歲入出案。梅川參與。就該案說明原案理由。次入第一讀會。高木氏質問工事進行狀況。櫛川參與。答之。杉原氏。問因金本位制停止。物價昂騰。不知有影響於包辦工事與否。又因此有無追營之事與否。梅川參與。答以工事所要物品。既已購入終了。當無大受影響。宮川氏。問受給水之鳳山無也。及屏東其他。有負擔擴張工事費與否。櫛川參與。答各有負擔。飯田氏。質問過池泉水井能力。櫛原參與。答之。武砂氏。述給水之際價希望。飯田氏與櫛原參與間。就集水井問題。互相質疑應答。芝。高木。杉原。清水諸氏。各有質問。次移第二讀會。審議歲出經常部第一款事務費以下臨時部各款終了。更議歲出經常部。亦無異議可決。省略第三讀會。可決第四號議案。於是議案可決。乃由議長述閉會辭。芝氏代表議員。述答辭。終由今井市尹。敍禮辭。議事極平穩。於同十時二十五分告終。一同在市役所玄關。攝影紀念。

三巨頭未就任以前 臨時舉出委員九名 組特務委員會

十二日上海電。當地所集新政府諸要人。十二日午前十時。會於法租界孫科邸。二時久重要會議。結果蔣介石。胡漢民。汪兆銘三氏。最短期間內。不出南京。中央勢陷於無政府情態。決定三氏就任前。以委員九名。組織中央政治會議特務委員會。爲過渡的辦法。推諸氏爲委員如左。
李宗仁。陳友仁。朱培德。李濟琛。孫科。陳銘樞。于右任。馮玉祥。何應欽。
特務委員。十四日合在中央政治會議。正式決定。在滬諸要人。十三日午前九時半。乘特別列車歸京。從此外交、財政諸問題。均應努力解決云。

閣議決定命木下長官休職 後任平塚廣義氏

十三日東京急電。十三日閣議決定事項如左。
正四位勳三等 平塚廣義
任臺灣總督府總務長官（一等）
臺灣總督府總務長官 木下信
照文官分限令十一條第一項第四號命休職

新長官 平塚氏略歷

新任臺灣總務長官平塚廣義氏。山形縣士族平塚榮次郎氏之長男也。生于明治八年。同三十五年。畢業東京帝大法科之政治學科。合格文官高等試驗。同三十八年。任福井縣參事官。爾來歷任宮城。三重、新潟、神奈川、各縣警察部長。愛知、新潟、兵庫各縣內務部長。大正五年。進至栃木縣知事。長崎兵庫各縣知事。同十四年。任東京府知事。昭和四年七月。退官。夙有敏腕之聲譽云。

明大選手 歸北後日程

明大野球選手一行。十一日在臺中。比試完了。乘十二日午後零時十九分。發臺中。同三時五十五分抵臺北。列車歸北。入若妻旅館。十三日午前八時半發北。兒玉寺參拜。十四日自由見學。同夜午後六時起。往鐵道旅館。出席於本社主開之懇談晚餐會。十五日正午。出席於臺灣體育協會主開午餐會。同午後一時五十七分。搭臺北驛發列車。向基隆。乘朝日丸歸京。

水社一帶農民移住 補償金三十八萬圓 受補償千四百人

日月潭環境地域之田畑。其他土地。約百五十二甲。因電力工事完成後。現在水面。漲高六十尺。埋沒水中。故電力會社。補助其土地及家屋其他。而與地方當局協議結果。決定至移轉地選定後提供。有如所報。而受此補償者。計至千四百人。裝于昨年末。州地方課廳務佐伯屬。是枝地理係長。中島新高郡守。陳魚池庄長。司馬按電力建設所長。其他立會之下。在水社全部蓋印。自去六日。開始所有移轉登記。豫定至本月末完了。對登記終了者。使爲支給現金。其補償價額略左。
土地一五二甲二八六。二百圓。民有地上家屋六九一棟。八萬五千二百圓（除官有地無斷建築三千件）。墓基八三二六基。六千圓。水牽二千八百圓。
其他移轉料。對一人所支與五圓。總額三十八萬圓程度。際此舊曆年關。該款項已流入水社一帶農民。豫料舊年末年始。或呈相當活氣。其支給方法。由彰化銀行埔里出張所支給。業已迴送現金。然同出張所。其將出張于水社現場支給。或由會社一々交現金手。或其他方便法。又彼等移轉地。爲員林郡田中庄大新外一處濁水溪浮復地。該排下地三百甲。而移轉不妨于工事完成後。唯金項已支給。附近民衆。亦爲欣望。

南部降霜 三萬餘甲 農作物被害

臺南州下。新營。曾文。東石。嘉義。北港各地方。自去四日。每夜降霜。氣溫四十度上下。稍數年來未有寒冷。越三兩日。甘蔗地瓜落花生枝葉。全部枯死。如車路墘。三崁店。溝裡。總爺。蕭壠。烏樹林。南靖。蒜頭。東石。鹽水。新營。嘉義。北港。虎尾等各製糖所甘蔗三萬餘甲。全部被害。收穫須

愁感云。

穀價頓挫

市內穀價。八日午前。千斤四十三圓。賣少買多。午後內閣辭職。跌至四十圓。買者反寡。十日內閣留任。再騰至四十二圓。而買手全部反爲賣手云。

基隆鄉軍 議募集法

臺灣鄉軍計畫募集金。基隆市去九日開關係者會議。結果推薦。梅川分會長。吉富市尹。清水郡守。松木築港所長。近江。顏國年府評。爲贊助員。並試募集豫定金額及方法。去十一日晚。更在俱樂部。開在鄉軍人評議會。就行方法。詳細協議。又募集分配額。本部尚未通知。故略定五千圓。而觀昨年募慰問袋成績。諒有二萬圓之應募者云。

壽山猿群圍採樵女 女懼極拼命奔竄 墜澗重傷生命危篤

高雄市北野町。許三木之女。許氏飲英。年十六。去十二日。午前八時頃。在壽山森林裡伐木中。突被猿群包圍。欲加以無禮。女懼極。拼命逃走。失足墜落深約有一丈溪底。頭觸岩石。負瀕死重傷。歸家後。出血過多。遂陷於人事不省。家人立即舁入附近醫院。施以應急手當。目下尚纖綿重態中云。

庄日地粉。以利及斬傷戴某。當場逃脫。三木年元日。自南部潛歸自宅。五日被警官查出。即往其宅包圍逮住。交竹郡拘押。自供。十一日移送新竹支部法院究辦。

珠花金腕環 及現金等 不在中被竊

月九日午後二時頃。高雄州鳳山郡鳳山街鳳山縣口人。葉朝吉及妻文治。爲他事不在中。被盜入內。偷去眞珠花一塊。價約九十圓。金腕環一隻。價五十圓。一圓臺灣銀行券十枚。十圓銀行券一枚。計金一百六十圓。乃立報于三角窟派出所。極力搜查。風聞是日有同街大老衛人黃明德者。爲要事來訪朝吉。到宅前。瞥見有宿在同街縣口人陳永盛家中。本籍臺南州將軍庄北卷口人。姓不詳。名迪者。由朝吉房中逃出。查賊人潛伏在高雄方面。

新竹郡農會 定稻耕收成期 附每甲施肥量

新竹州農會。竹郡支會。爲圖稻作豐收。研究七年來徵甲配合肥施量。即中實施之稻耕。收成適期。村種播秧期。一月二十四日。同插秧期。三月一日。此間三十五天。收成期定六月十三日。自播稻至登場。要經一百零五天。旭種播秧期。定一月二十四日。插秧三月一日。自放穀至播種。三十五天。登場六月二十日。自播稻至收成要經百十二天。嘉義晚二號。播秧期。定二月十四日。插稻期三月一日。自放穀至插稻。要四十五天。收成期。七月四日。自播稻至收成。要經百二十六天。蓬萊中六十五號。播秧期。一月十四日。插稻三月一日。收成期。定七月十一日。自播稻至收成。要經百三十三天。又對前記四品種稻。每甲所施配合肥。要施豆粕十五塊。過燐酸石灰六包。硫安百二十六斤。硫酸加里百四十斤。堆肥一萬五千斤云。

八十三翁 在好收路上 耳聾被轢死

去九日午前九時半。北港郡北港好收道路。北港製糖所原料蔗運搬鐵道橫斷地點。有北港街番子溝人蔡元。年八十三。以年高耳聾。致被火車轢死。頭身粉碎。見者皆爲悲傷。

抱子尋夫夫解職去 行乞露宿遇暴呼救 不景氣中細民哀話

高雄市鹽埕町四丁目。同利紙函店前。去十二日午前四時頃。突聞有女人叫救救聲。一時驚動附近住民。俱皆於夢裡驚醒。開窗四望。果見一年約三十左右之婦女。手抱一小童。兩相橫倒路上。好事者即以故。詰問其人。爲彰化郡下南郭庄人林述之妻。林許氏幼治。其手抱者。則係長男福來。於三天前。在其本庄出發。到高雄某工場。欲訪其夫。顧夫於數日前。被解雇。不知去向。又乏資不能還鄉。舉目無親。日漂流市中爲乞。夜宿亭子腳。近時幼治橫臥於某店前。忽來一漢子。假粧與其夫契交。假欲加之無禮。被婦看破拒絕。漢遂反羞成怒。欲下毒手。婦不已。即抽身欲走。漢又在後緊追。乃開聲呼救。聞者皆爲同情。乃各贈以川資。使其歸鄉云。

北斗

霜害陳情

鹽糖會社溪州製糖所。及明治會社溪湖製糖所。爲其園域內甘蔗。受去三日四日兩夜間降霜被害。將割取之甘蔗。亦被凍死。農民欲請會社。先行割取壓榨。故關係庄當局及農民。往訪會社陳情者。每日門前若市。大有應接不暇之勢云。

實地踏查

北斗郡下。一般農作物此回之降霜被害。而竹塘以西各庄。除小麥以外之農作物。概可稱全滅。農民悲苦。莫可言狀。合陳情於各庄當局。州谷木勸業課長。去十日親自到斗。偕松尾郡守及庶務警務兩課長。同隨員。並鹽糖廠庶務係長。同到實地。踏查被害實況。

義盜

滄縣有周姓守仁者。家道殷實。唯不事詩書。專以習武藝爲事。因該縣土匪出沒無常。故藉此以作防身之計。不數年。藝大精。無能土匪。聞風而步自卻。雖自覺武藝稍佳者。一經觸指。亦大敗而歸。於是遠近皆知。有巨匪黃振聲者。聞之氣甚不平。遂派其徒數人。前往試戰。皆亡命於守仁之手。黃大怒。又派其徒一人。前往用暗殺之計。約一月爲期。如屆期不返。即知汝命亦休矣。其徒領命。裝一乞丐。蹈守仁之門求售。守仁哀其飢寒。姑受爲僕役。每日精勤其事。頗得守仁之歡心。一日僕病。守仁爲之延醫診治。親嘗煎藥。心中頗感守仁之盛德。心想守仁々人也。待我如斯。待他人亦必如斯。人皆欲殺者。以其多財故也。人而無罪。使賤其主。誠斯言如此義人。殺之不義。違師命不忠。不殺仁人不義。黃之徒雖銜命來行刺。至是亦不忍下手。不特不忍下手。而反誠心保護守仁。恐他人仍有害之者。黃待其徒一月未返。以爲必亡命於守仁手。是必自往。不能雪此深仇。黃昏時候。抵守仁家。升堂入室。守仁正秉燭靜坐。見有不識之人進入。知非善類。拔劍而起。振身而鬥。黃振聲縱步向前。一腳正踢守仁之手。劍乃落地。守仁受痛不過。呼一聲。橫臥地上。黃向手以刀殺之。刀至半途。間不容髮之際。一人從之落於案前。守仁凝視。乃僕熟視盜顏。大爲痛哭不已。曰誤殺師矣。黃振聲將殺守仁之際。其僕以爲他盜。誤殺其恩主。不知係其業師。故奮不顧身。直往前救。及守仁細詢。乃得其詳。守仁驚訝之。欲終身依爲心腹。其僕不可曰。恩主之恩雖重。不忠之名何逃。必思一死之力。以終千志。望主公乃憐我可耳。守仁不知其意。忽自殺。不數日。竟自縊而死。守仁憐其義。而厚葬焉。此乃前清道光時事。至今人傳爲美談。言之者猶讚嘆不已。

臺中州下霜害 一遍蔗園變成灰色 乾燥地被害最甚

臺中州下。去三日及四日早晨降霜。爲近年稀見被害最巨者。爲北斗郡下草湖、溪湖、二林、萬興、萬合、埤子頭、大排、沙北等之明糖溪湖工場採取區域被害原料額約一億斤。爲是前記各地方。一遍蔗園枯死。變爲灰色。光景極慘澹。該原料一億斤。其步留按爲一成。則損失砂糖一千萬斤。然霜害不止同地方。如沙山。王功。溝子墘。後寮。萬寮田。大益脚等處。已爲冬季南風受相當被害。今復蒙霜害。蔗苗殆見枯死。幾不存一成。又乾燥畑地。霜害最烈。惟在水田。或不甚乾燥地。被害較少云。

少年膽大 橫領巨金送院

臺中州豐原郡內埔庄後里人。現住嘉義市鹽埕。農夫劉榮和之次男劉魁。年二十一。去七日。詐稱爲同所紀登之雇人。對嘉義郡水上庄南靖明治製糖工場。橫領現金一千二百五十圓。後逃歸本籍。紀查覺。遂對嘉義署提出告訴。當署照會本籍。逮捕訊問完結。十一日連人帶案。解送嘉義法院支部檢察局云。

嘉義

捕竊柑子蜜者

嘉義市下路頭人羅信强。年二十。本月三日夜。在同市南門町內外食品會社工場南方園中。竊取柑子蜜。被南門派出所巡查發見。拘入司法室訊問。始供稱自昨年七月以來。常在園中竊取野菜類。十一日移送嘉義法院支部檢察局究辦。

農林品評

州立嘉義農林學校。去十日午前八時。在同校講堂。開第八回農產物及成績品評會。出品三百餘點。金額六百圓。正午閉會。賞額五百餘圓云。

郵局裁員

嘉義郵便局。因財政整理。決定裁員若干名。近日中發表。局員高級者。均見

供行政整理犧牲 山口宮司辭職消息 中央頗躊躇處置方法

臺灣神社宮司山口透氏。供督府行政整理犧牲。爰由當局請其提出辭表。該辭令案。督府手續完了。現爰送中央政府。山口宮司。屬奏任待遇（三級）就其退任。經拓務省。通過內務省神社局。其他。要特殊手續。山口氏幼年。奉仕北白川宮能久親王殿下。因此關係。明治三十四年。爲臺灣神社宮司。直至今日。在任三十年。並無過失。山口氏退任之報一傳。僉謂雖值行政整理。但此誠質之老宮司。供此犧牲。實爲可惜。督府。對此後任假有內定。然在中央政府。考慮以上諸點。似頗躊躇該辭令案辦理云。

新入營兵 來臺

鎮南護國入營兵。臺北山砲兵。馬公重砲兵。臺北。臺南聯隊。看護兵計三百九十一名。乘去十二日入港朝日丸來臺。由木船分乘團平船五隻。以汽艇曳航。自驛前棧橋上陸。在同岸壁前受點呼云。

載鹽二帆船 因浪坐礁

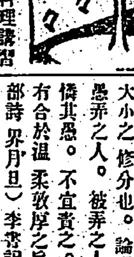
臺南市安平人林松所有帆船。去十一日下午一日下午一時頃。乘組員六名。載鹽四百包。出安平港。駛至□□口。被激浪捲上岸

傷害犯送院

新竹郡舊港庄新庄子許欽。昭和□年夏季。在同

在旗亭飲酒 使氣毆人

嘉義市北社尾人現在同市榮町二丁目爲新同榮材木店員陳添常。年二十六。十二日午前一時。在同市西門町西薈芳旗亭豪飲。有幾分醉意。無故毆打同樓藝妓黃氏阿珠。年十九。及其祖母楊氏引。年六十五。並同樓傭人。俾各負重輕傷。又物品破毀甚多。西門外派出所接報。有所員名。急至現場制止。並將該常帶至派出所取調。聞被害者阿珠及祖母。欲診斷提出告訴云。



虎尾公合堂內。料理講習數十名婦女。均來自他庄。而虎尾庄反無通知於庄氏。何也（厚彼薄此）三生結得好緣因。邂逅相逢意自親。人物最宜先審定。休論家產富和貧。（國帝剛簽）受招待不以爲榮。受招待又不知眞假。即以爲榮。此儒大小之修分也。論理宜責愚弄之人。被弄之人。宜憐其愚。不宜責之。庶幾有合於溫柔敦厚之旨。（中部詩界月旦）李書記演大活劇。令人好笑亦好氣。君之身分。也效富豪金屋藏嬌。又乏統制能力。天々鬧個不休。兩雖神經麻木。美言之則爲司空見慣。然隣右受迷。惑不淺矣。（太平居士）

會告

▲在鄉軍人嘉義分會。去十一日午後七時起。分會長及役員三十七名。齊集在公會堂。因關于軍機獻納二千四百圓之募集協議。定各班內分會員。向各團體。或個人。配趣意書。定至本月末日。全部勸募明白。九時解散。

人事

▲基隆市高砂町劉比山氏令郎文然君。現奉職於□商工課。此次依臺北市林耀宗氏夫妻執柯。與臺北市內宮前町黃順氏令愛。訂來十六日締婚。兩家亦感聘金不合時宜。宗全廢止云。
▲東石郡警察課長高瀨健次氏。自客年末蒞任以來。因年關已迫。未得巡視。茲決定巡視郡下各派出所日程如左。一月十一日鹿草及後堀。十二日大槺榔、双溪口、蒜頭。十三日六腳、竹子腳、港尾寮。十四日太保、水崁厝。十六日布袋、前東港。十八日義竹。新店十九日過路子。新塭二十一日鴨母寮、牛挑灣。二十二日港墘。塭子、過溝二十三日下楫子寮。屯子頭、東石。二十五日蔦內。二十六日直轄外務。
▲東石郡朴子街朴子公學校鴨母寮分校々長劉瑞氏之母蔡氏彩娥。去七日逝去。享壽六十有二。葬期十八日。在自宅舉行。

臺灣日日新報
本日夕刊共十二頁
發行所 臺北市榮町 臺灣日日新報社

新年號大飛躍の感激を以て二月號に於て又々特輯大計畫を立てました。誰方も御覽下さい。定價は五十錢です!!

キング

大飛躍の二月號

第一特輯 新案家庭娛樂大集
家中大喜び、大賑ひ！

第二特輯 世界は動く（大寫眞畫帖）
見よ！此の人物、此の光景！

第三特輯 珍妙奇拔百物語
嘘の様な面白い本當の話！

第四特輯 處世戰術名家秘話
立身、成功、幸福、繁榮の秘訣！

第五特輯 短篇小說大傑作集
▲美人勇士 八重姫九重姫……中內蝶二
▲軍事美談 山口一等兵……竹田敏彥
▲男氣美談 大丈夫の松……新堀鹿人
▲人情切々 朝日は躍る……鈴木彥次郎
▲神出鬼沒 旅鳥の女……前田曙山
●思はず泣かされた話
●落語コント傑作集
大家新人腕くらべ！

新揭載 時代小說 振分け小平……長谷川伸

▲現代小說 青春無情……三上於菟吉
▲時代小說 菊五郎格子……子母澤寬
▲現代小說 白夜は明くる……久米正雄
▲純愛小說 大地に立つ……野村愛正
▲現代小說 未來花……菊池寬
▲時代小說 天晴啞將軍……白井喬二
▲探偵小說 鬼……江戶川亂步
▲時代小說 薩摩飛脚……大佛次郎
▲小說 小松龍三……海龍號

感動美談 日本ペスタロッチ……主幹 爲藤五郎
萬人感激！大感動！

▲大臣官邸の裸踊りから千萬長者の婿に……養子
▲現代漫畫家傑作競演會……十四名家
▲人氣花形秘話感話
●球界美談 六百本目の本壘打……細川辰彥
●英雄偉人を語る座談會……六名家

日本一富豪物語
○愉快な御隱居
○偉人縮はなし
○人傑讃歌
○處世雜話
○我が處世の信條
○現代最年少活躍の人々

國運發展大座談會
滿天下の熟讀を乞ふ！現在の日本は何處へ行く？
出席者

定價五十錢 大日本雄辯會講談社

日庭球服裝

香味と效果に於て斷然傑出せるライオンはみがき

本舖 株式會社 小林商店 東京・大阪・名古屋

腹痛・下痢にダイモール（腸内殺菌）
說明書呈 株式會社 鳥居商店

賀正
大阪丸三合名會社
池田江一

運動用具は臺日へ

大阪商船

近海郵船

パイロット
高級萬年筆
標準六號金ペン裝置
實用萬年筆
定價四圓五十錢以上
萬年筆用
東京 株式會社 並木製作所

資生堂歯磨
クリームの寶の齒磨は之れ一つ
大五十錢 小三十錢
資生堂齒磨（大）一個御買上げ毎に資生堂せっけん一個進呈

一萬分一 臺北市街圖
發行所 臺灣日日新報社

運動具の御仕入と寺西商店
確實なる製造問屋との御取引は貴店の營業を最も有利に導く最善の方法なり
販賣上最後の勝利は仕入にあり
日本軟式庭球協會指定用具製造販賣
大阪で有名な運動用品製造問屋
寺西商店
大阪市南區末吉橋西詰

DODGE BROTHERS
新年には是非ダッヂブラザース
新六氣筒及八氣筒車
代理店 合資會社 橋口商店

我が財界今後の轉回如何 滿洲の開拓は好材料である

一

金の輸出再禁止を契機とする新年の我が財界は、[illegible]

二

新春に入りての大きな問題は內にあつては本月九日の不敬事件に伴ふ犬養內閣の辭表捧呈と、外にあつては錦州の占領と米國の抗議である。[illegible]

三

更に最近の株式及公債市場を見るも、[illegible]

四

翻つて新春の本島經濟界を展望するに[illegible]

五

[illegible]

支那側で信頼する わが陸戰隊の警備
保安隊巡察隊は丸腰

【青島十三日發電通】十二日夜上陸した我が陸戰隊は出雲、八雲兩艦を合せ○○となり要所を固めたので支那側は之に信頼し保安隊、巡察隊は丸腰で警備に當つてゐる

強硬態度を執る決意披瀝

【青島十二日發電通】川越總領事は居留民大會の決議に基き青島支那紙の不敬記事掲載事件に關し強硬なる態度を執るべく決意を披瀝した

市黨部の燒失に群衆快哉

【青島十三日發電通】長年暴戾な排日の限りを盡して一般省民の怨府となつてゐた青島市黨部が燒け落ちたことは一般に喜ばれ數千の群衆が廢墟の跡に集まり快哉を叫び溜飲を下げてゐる

全く意外なこと
在任中の感想などは此の際語りたくない
前長官木下氏語る

十三日休職と決つた前總務長官木下信氏は同日午後在府の記者團に對し次の如く感想を語る

全く意外な出來事であつた、かういふことにならうとは思はなかつた、上山總督時代に自分は　その當時ひそかに時の總務長官を代へて總督を辭任させやうといふ計畫が東京で行はれてゐるといふことを聞き乍ら之を眺めてゐた。こんども總督に辭任催促のために何かの計畫が東京方面にあるといふことは聞かぬでもなかつたが、かういふことをされやうとは意外であつた。發表のために恩例を殘じたものと思ふ。自分は最初から肚はきめてゐたのであるが總督が辭表を提出する譯にも行かず今日に至つたものである自分の氣持は朗かであるが在任中の感想などこの際語り度くない、會社の問題も解決したかつたが、この問題についても大分誤解されてゐるやうである

上京は　豫定の通り十五日に發つか、からなつたのであるから暫らくゴルフでもして行くかまだはつきり決めてゐない

尚木下氏の上京について督府では總務長官であれば豫定の如く十五日上京の手筈であるが、若し新聞電報通りの公報が來れば木下氏は自由の身となるので、暫らく滯在するなり或は直ちに歸京するなり、木下氏の自由意思で決定されるであらうと謂つてゐる

發令になつたら早く赴任したい
知らない所だからよろしく
平塚新長官語る

【東京支局特電】十三日突如として總務長官の更迭が決定し前東京府知事平塚廣義氏が新長官として就任する事となつたので早速平塚氏を目黒の私邸に訪へば家族全部が不在で一門に張る一隅來訪の趣を知らぬげの風情である留守居の者に尋ねて日本倶樂部に馳せつければ平塚氏は今日訪ずれがあつたばかりだが早や決定したのかと言つた風態で記者を引見した平塚氏は當年五十八歳で小男と云ふ程でもないが丈高き方にもあらず白髮は漸く其の年に達するも頗る壯快にして好男子なるためか一見四十臺とも思はれる若さである

やあもうきまつたのですか、まだ發令がないのでお話も出來ないが、僕は大正十四年より昭和四年迄東京府知事を務め後とし內地のみに在官してゐたので臺灣と云へば何にも知らない、更に角發令になつたら出來るだけ早く赴任したいと思つてゐる、家族と云つても夫婦の外に長男があるだけだから赴任については雜作はないです何しろ何にも判らないからどうかよろしく」としとやかな挨拶振りであつた

平塚長官夫人はダンスが上手
本島の社交界も朗らかにならう

平塚新總務長官のシゲ子夫人は賢夫人としての令名が高く、平塚氏が地方長官として各地に在勤してゐた際には常にその地の社交界をリードして麗々しい實績をあげて來た、殊に兵庫縣知事時代には各國の駐在外交官が多く集つてゐるので夫人の活躍振りは目覺ましかつたと云ふ事である。とりわけ夫人は體育に堪能であり、ダンスが巧なので阪神地方の社交界をリードするに充分の資格が備はつてゐた譯である。今度長官夫人として臺灣の社交界に乘り込んで來るのであるから、自然に臺灣の社交界を一層モダンに、朗かになるだらうと今から噂されてゐる

農相西下

【東京十三日發電通】山本農相は熱田神宮に參拜就任奉告のため十三日午前九時東京發西下した

臺灣の事情が あんな風だからね
休職の理由？判つてゐるだらう
秦拓相は語る

東京に秦拓相を拓務省に訪ひ臺灣の長官に休職と言ふ新例を開いた事情につきその意見をただせば

今はそんな事を言ふべき時でないがそんな事は誰でも知つてゐる通りだ、僕から言はないでもわかつてゐるだらう。何しろ臺灣の事情があんな風だからね

と其の意中を言外に現はし多くを語らなかつた

長官の休職は總督任命の爲か

【東京十三日發電通】木下總務長官は今尚任地に在るに拘らず十三日文官分限令第十一條第一項第四號に依り休職を命ぜられたが右は政府が太田總督任命のため斷行したものであることは否めない

長官更迭の公電到著

臺灣總督府總務長官更迭に關して十三日午後八時三十分拓務省秘書課長から總督府秘書課長宛に十三日本紙夕刊所報と同樣の公電が到達した

わが黨の春に 閣僚夫人の新年會

（寫眞は首相官邸庭にて）

和やかな七日午前十一時から犬養首相千代子夫人代首相官邸に各閣僚夫人をはじめ各政務官夫人約三十名を招待し大ホールで新年の挨拶をかはし[illegible]

賀陽宮兩殿下 今秋御洋行
御豫定は七八ケ月

【東京十三日發電通】賀陽宮同妃兩殿下には七、八ケ月の御豫定で今秋十月又は十一月御洋行遊ばされることに御內定遊ばされた

不祥事件の御奉告の儀
正式仰出さる

【東京十三日發電通】天皇陛下が八日の不祥事件を宮中三殿に御奉告の儀は二十二日午前十時より伊勢神宮神武山陵への奉告の儀は二十六日行はせらるる旨十三日正式に仰せ出された

白國皇太子殿下 ブラッセル御出發

【ブラッセル十二日發聯合】かねて[illegible]白國皇太子レオポルド殿下には[illegible]れた

臺灣總督の後任 川村氏有力
下馬評はいろく

【東京十二日發電通】臺灣總督の後任に就ては種々噂されつつあるが目下の所川村竹治氏が最も有力視されてゐる

豫定を早めて總督上京か
太平山視察は中止

[illegible]

長官の休職は事實とは思へぬ
不快の色を面に浮べ
太田總督高雄で語る

【高雄電話】總督が方面の視察を終へて十三日午後高雄着、壽山館にて歸北前の數時間を休息中の太田總督を訪へば太田總督は浴衣がけの打寛いだ姿で心よく記者を迎へ[illegible]

とは思へない。どうも事實ではないか、自分はそんな事はあり得ない事だと確く信じてゐる若し事實だとすれば何の必要があつてそんな事をしたのか頗る了解に苦しむところだ

[illegible]

十二日の長官公室

[illegible]

民政黨幹部 解散の覺悟を決め
全國支部に準備を急がす

【東京十三日發電通】民政黨は十三日の院內總務會にて議會解散を中心に種々協議の結果早晚議會を解散は免れぬものとしてその準備を整へるに決した、即ち解散[illegible]

樞府定例會議
議案なく天機を奉伺

【東京十三日發電通】樞府は十三日午前十時宮中に於て倉富議長以下各顧問官定例參集したが議案なく一同打揃つて參內天皇陛下に拜謁仰付られ天機を奉伺して同十時半退下した

英國の貿易 大入超
四十一億餘萬圓

【ロンドン十三日發聯合】英國貿易局發表によれば昨年中の輸出入額は左の如くで四億千三百萬磅（四十一億三千萬圓）の大入超を示した

輸入　八億六千三百萬磅
輸出　四億五千萬磅
入超　四億千三百萬磅

一昨年

輸入　十億四千四百萬磅
輸出　六億五千八百萬磅
入超　三億八千六百萬磅

民政黨總務會の對議會策打合

【東京十三日發電通】民政黨は十三日正午院內總務會を開き對議會策に付き打合せの結果大要

一、不敬事件につき與黨內部に非常なごたくがあるから議會劈頭の解散は免れない

一、然し事件追加豫算、兌換停止緊急勅令承諾案の關係上劈頭解散なき場合は不敬事件を初め財政經濟、外交、內政に亘り質疑を爲し、情勢に應じて彈劾案或は不信任案の提出に關する態度を決するも遲からずと云ふに意見一致し重大變化なき限り劈頭解散論や不信任案は提出を差控へることとなつた

拓務省殖產局長
北島謙次郎氏に決定

【東京十三日發電通】十三日左の如く拓務省殖產局長に北島書記官が任命された

拓務書記官　北島謙次郎
任拓務省殖產局長（二等）
拓務書記官　阪谷希一
殖產局長心得を免す

犬養首相を南大將訪問

【東京十三日發電通】南大將は十三日午前十一時半官邸に犬養首相を訪ひ滿蒙視察報告をなし今後の方針に付き種々意見の開陳をなし午後零時十五分辭去した

定例閣議
臺灣總務長官の更迭を決定

【東京十三日發電通】十三日の定例閣議は[illegible]首相を除く各閣僚出席、大角海相より青島事件の報告ありたる後森書記官長より十四日の地方長官會議で爲さるべき首相の訓示原案を朗讀したる上異議なく決定し、次で臺灣總務長官の更迭を決し同十時十分散會

米の勸誘に 和蘭應ぜず

【ヘーグ十三日發聯合】オランダ政府はアメリカの勸誘に應ぜず日支紛爭には何等文書を送らぬことに決定した

佛國外務省に 人事大異動か

【パリ十二日發聯合】[illegible]

蓬萊丸より

[illegible]

外科皮膚科　一番瀨醫院

內科　殿村醫院

外科　大場醫院

產科婦人科　鶴田醫院

眼科　筒井醫院

耳鼻咽喉科　藏田醫院

齒科　小林醫院

小兒科　關屋醫院

耳鼻咽喉科　天野醫院

內科皮膚科　千本醫院

外科　菅沼醫院

圖書展覽會開催中の高雄市立圖書館

十八日より開く 臺南市協議會

新規事業は十七項

臺南州來年度豫算編成に關する定例協議會は來る十八日より四日間開催、十八日午後一時（最終日は午前中のみ）より市役所會議室にて開會の筈となり十二日協議會員に對し夫々招集状を發送したがその會議日程は

第一號議案七年度歳出入豫算案、第二號議案七年度歳入出特別會計豫算案、第三號議案市基本財産管理規則改正の件、第四號議案……新規事業の件、第五號議案市營クリーニング所使用條例に關する件、第六號議案基本財産に關する件等で……その豫算額は一般特別會計總額八十萬圓……前年度より一萬餘圓の増加となつて居るが……新規事業とすべきもの十七項を算して居る狀態である

潮州郡で誇るべき 優良蔗園と果樹園

其の經營の人々

高雄州潮州郡下で全島一を誇るものに五塊厝の蔗園と水底寮の果樹園がある……

世界的記録の 可驚優良蔗園

……

全島唯一の 水底寮の果樹園

……

臺南州の 女子青年指導者

講習會を開催

臺南州では漸次その實績を認めらるゝやうになつた女子青年指導者の養成、訓練に當つて……來る二月十一日より四日間……に於て開催……

臺南州の 國語普及研究會

臺南州では國語普及の振興發展を期する目的を以つてこれが施設經營に關する研究打合を來る一月三十一日斗六女子講習所（同地女子……）

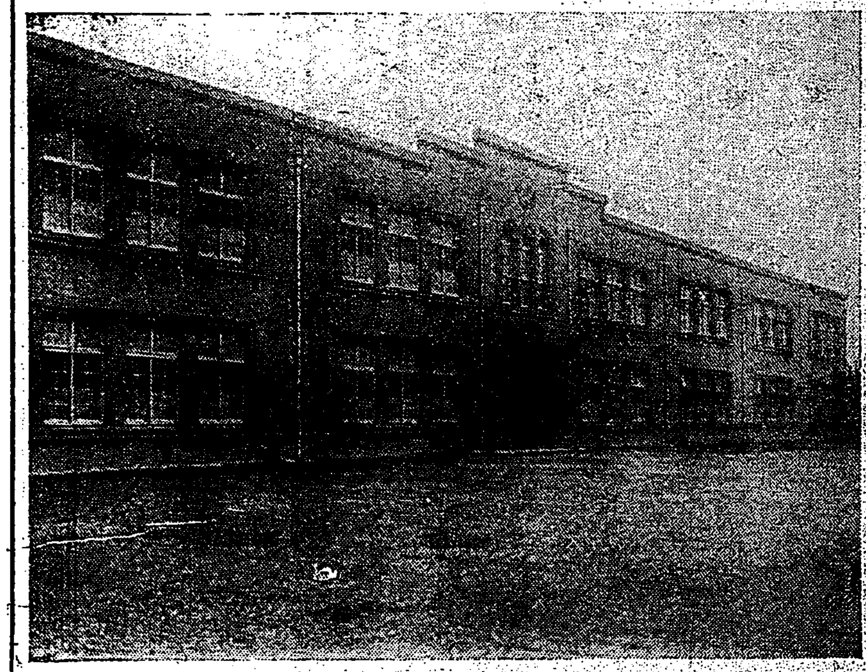
宜蘭郷軍總會

【宜蘭電話】十七日午前八時より宜蘭公會堂に於て同郡下在郷軍人の定期總會が開かれる筈であり當日は會員二百餘名集り種々打合せを遂げる中に……

大甲沖で 漁船遭難か

五名の安否氣づかはる

【臺中電話】大甲郡の高美の漁夫……外四名は十二日午後七時頃から同地沿岸に出漁中突然暴風雨に襲はれ漁船行方不明となり十三日朝同地沿岸に船底板一枚……漂着せる所から察すると五名共溺死したものではないかと目下同地沿岸漁民總出で捜査中であると



モダンに化した新竹女子公學校校舍……十三日落成式を擧行

臺中州下の 降霜被害調べ

無被害は一市三郡のみ

【臺中電話】過般の降霜が諸農作物にどの程度の損害を與へたかについて臺中州勸業課では以來調査中であつたが十三日迄に判明した分左の如し

△臺中市　及大屯郡大甲郡竹山郡被害なし

△彰化郡……

△員林郡……

△豐原郡……

△南投郡……

△東勢郡……

△新高郡……

△能高郡……

埔里點滴

▲埔里街協議會十八日……

▲埔里街第十四保……

高雄圖書館の 展覧會

十五日迄延期

【高雄電話】高雄圖書館の……展覽は十三日限……

ラケツトで 五百圓……

【新竹電話】新竹市歳末大賣出しの特等は松尾商店から出たが當籤した幸運者は中學校の……先生で「ラケツト」一本買つて五百圓を打當た譯である

造林地へ 放火

犯人捕はる

【嘉義電話】嘉義郡大林庄中坑……造林地域内より十二日午前九時突然發火し附近住民かけつけ消火に努め同十時頃漸く鎭火した……

大寮灌漑擴張工事

十三日鍬入式を擧行

【高雄電話】鳳山曹公水利組合の……高雄州鳳山郡下大寮……灌漑擴張工事の鍬入式は十三日午前九時……において行はれかくて……

太田總督

高雄より臺北へ

【高雄電話】……太田總督は十三日午後三時四十四分……高雄發……

水牛の轢殺

新竹郡湖口庄北勢一〇六番地……水牛は十一日午後二時四十五分湖口驛東方一丁の鐵道線路内にて……に觸れ轢殺された

牛を盜まる

【嘉義電話】嘉義郡大林庄大埔……の水牛一頭價格五十四圓が十二日夜十時頃何者かに竊取された……

嘉義の演奏會

【嘉義電話】來る十六日午後……時より嘉義公會堂に於て新高新報……の口笛とハーモニカの演奏會を開催する事になつたが……

臺中市豫算案

【臺中電話】臺中市では昨年末から七年度豫算の編成中であるが昨今殆ど完了したので近く印刷に付し來る二十二日……會を開催すると

高雄塩埕町に 警官派出所

【高雄電話】高雄市塩埕町方面は市における本島人街の中心を形作り……

貧苦から 厭世自殺

【臺南電話】臺南市……

大屯郡農事褒賞 授與式

【臺中電話】大屯郡農會組合聯合會では……

北港方面委員會

北港郡北港街方面委員では十二日午後一時より……

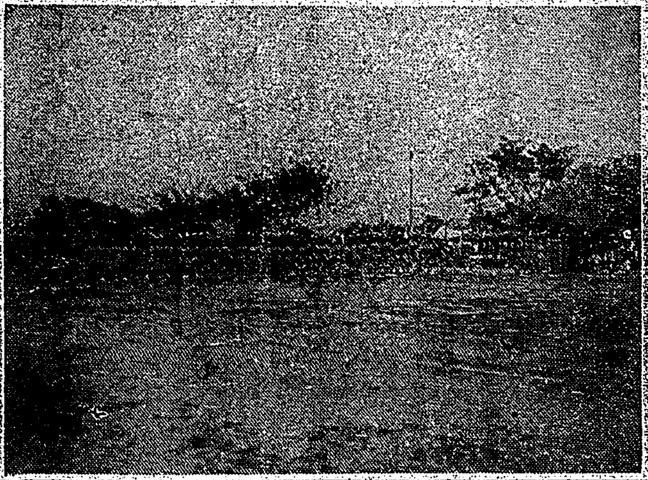
性懲りなき泥棒

娑婆の空氣も僅か一ケ月 再び刑務所へ（臺南）

【臺南電話】三年間の刑を終へ臺南刑務所を出て……

東部信組總會

……



竹東郡聯合青年團結團式

社頭の 興農信組

【臺中電話】……

臺中武德會寒稽古

【臺中電話】武德會臺中支部では十五日から二十五日迄……

新竹市内の 舊歳末景氣

新竹市内に於ける……

新竹

金山

馬公

東京製糖原糖の 購入申込み

花蓮港ニュース

◇花蓮港……

◇圖書館週間……

◇國立公園……

◇吉野村……

齋藤壽三郎儀病氣の處療養不相叶十二月十三日午後四時死去候に付此段廣告候也

男　多喜郎
妻　ワカ
…　野猛
友人　宅間源五郎
　　　木原榮三
　　　丸山繁三
　　　本山直枝
代　内田芳雄

人生と生殖器
門松や冥途の旅の一里塚
短小、機能障害は直ぐ治療せよ

タダ アゲル
圖入説明書と實驗例文集

東京新療法研究所

帝國文學大辭典附圖索引

胃腸 アイフ 良藥

貴下の慢性胃腸病に是非推奨すべきはこのアイフ！これぞ眞に病苦を快癒する胃腸藥の王者なり

適切なる治療の緊要を示す此事實

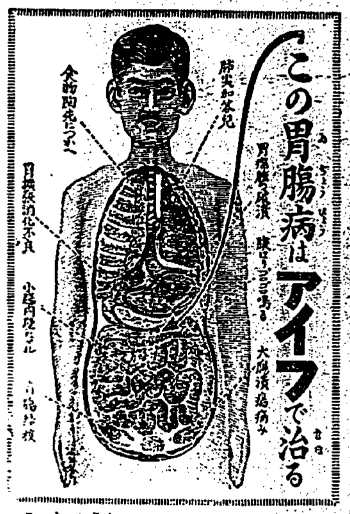
慢性胃腸病は萬病を誘發するに止まらず恐るべき大患を招く。見よその立證に最近の統計（昭和四年度調日本帝國統計年鑑による）は下痢腸炎胃疾患消化器病で死亡せる人實に十九萬八百餘人の多さを數へ諸病死者の最高位にある。されば胃腸病の適切迅速なる治療こそは最喫緊事と言はねばならぬ

この症狀にはアイフが是非とも必要

慢性胃腸病は治り難い病氣で人目には左程大病らしく見えぬが何しろ腸胃の機能がすつかり損じ内壁には恐ろしき疵や爛れを生ぜるため

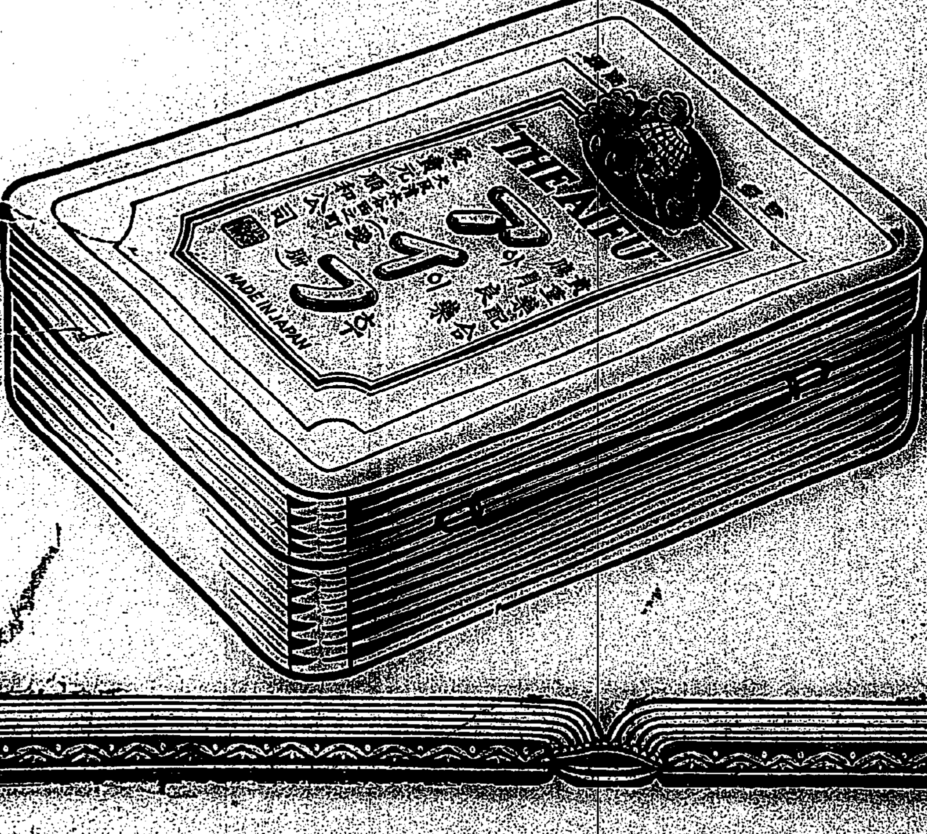
●食慾進まず胸先痞へ嘔つきゲツプ出で
●いつも下痢や軟便にて便には粘液膿汁を混じ
●腹膨りゴロ〳〵ブツ〳〵鳴り放屁多く下腹痛み
●滋養物を食するも身に付かず身體衰弱し
●元氣衰へ顔色悪く神經過敏で短氣となり
●肺尖肋膜に故障を生じ熱出で夜眠られず
●少しの酒や不消化物を食すも覿面下痢し痛み
●大便に血液膿汁を混じ胃癌胃潰瘍腸結核等の疑ひある症狀には是非アイフを服用されよ

この胃腸病はアイフで治る



患部を直接治療する獨特の醫治作用

アイフは胃腸病に最も適切の良藥で主藥は内壁の潰瘍面又は糜爛面に附着して炎症を鎮め粘膜を強壯にし粘液の分泌を減じ蠕動亢進を制し下痢を止め痛みを鎮靜する。故に速に急性慢性の胃腸病を快癒せしめ、更に胃腸の機能を旺盛にし食慾を進め榮養の吸收を良くし血色を加へ體重を増し、元氣と健康とを著しく増進する



藥價 三服入二十錢・四日分七十五錢・八日分一圓五十錢・十七日分三圓
四十五日分七圓・退院用特製十一日分五圓・二十三日分十圓

全國到る所の有名なる藥店にて販賣す

大阪市東區清水谷西之町
發賣本舖 順和公司
振替貯金口座大阪三四五番 電話(東)五〇〇〇・五〇〇二・五〇〇三

東京 東京市本郷區眞砂町九番地 電話(小石川)四〇一〇番 振替貯金口座東京六二二八八番

大連 大連市山縣通一丁目 電話七六〇八番 振替貯金口座大連三七六五番

再禁止で著騰した 舊臘の臺北物價
總平均四分六厘一毛高 玄米の奔騰が筆頭

昭和六年十二月十三日内閣更迭と同時に金の輸出禁止を斷行した結果諸株式は低落から騰貴し物價も又昂騰し前月の十一月に比して内地方面は著しく昂騰

臺北は 從來内地市況の變動が臺北に及ぼすまで約一ヶ月を要し内地の物價が昂上すれば一月遅れて上げると云ったものであるが、臺灣銀行調査によると舊臘中の臺北の物價は十一月に比し著しく昂騰した

洋鐵一 割三分一厘、鉛一割八分七厘、銅一割四分五厘、石炭六分八厘の何れも騰貴し他は何れも保合で過去一ヶ月に入ってから更に各種物價は漸次騰勢を示している

十二月 中の物價を十一月と比較すると左の數字を示し何れも騰貴を示してゐる(左記は大正三年七月の物價を一〇〇として算出したもの △騰貴)

品目	十二月	前月
白米	△一四〇・三	一三六・八
玄米	△一三一・二	一九八・二
清酒	一六〇・〇	一六〇・〇
麥酒	一八五・〇	一八五・〇
紅茶	一二四・〇	一二四・〇
醤油	一八〇・〇	一八〇・〇
小麥粉	△九九・九	八八・七
砂糖	一五五・五	一五五・五
鰹節	一三一・〇	一三一・〇
味噌	一〇〇・〇	一〇〇・〇
椿油	△一〇〇・五	一〇〇・〇
石炭	一〇〇・〇	一〇〇・〇
燐寸	一〇〇・〇	一〇〇・〇
木炭	一八〇・〇	一八〇・〇
煙草	一六〇・〇	一六〇・〇
包種茶	八八・八	八八・八
白木綿	九八・〇	九八・〇
綿布	九五・〇	九五・〇
洋紙	△一二六・八	一二〇・二
日本紙	△一三〇・二	一三〇・二
杉板	△一三七・七	一二六・六
杉材	△一三三・〇	一二五・〇
洋鐵	△一三八・九	一二三・〇
鉛	△九六・〇	八六・〇
銅	△一四〇・三	一二二・三
瓦	一〇四・〇	一〇四・〇
内地瓦	八五・〇	八五・〇
セメント	九一・一	九一・一
石油	△一三六・〇	一三〇・〇
石炭	一〇〇・〇	一〇〇・〇
木炭	一〇〇・〇	一〇〇・〇
平均	△一二六・〇	一二〇・二

而して一月以降各月別平均物價を前年と比較すると左の如し

	昭和六年	昭和五年
一月	一二三・七	一五三・一
二月	一二八・一	一五〇・九
三月	一二六・八	一四七・〇
四月	一二四・〇	一四五・四
五月	一二三・六	一四四・二
六月	一二二・〇	一四〇・〇
七月	一二一・五	一三九・一
八月	一二〇・〇	一三七・九
九月	一一九・〇	一三五・〇
十月	一一八・六	一三一・九
十一月	一二〇・二	一二九・〇
十二月	一二六・〇	一二四・二

大臺北の市區計畫には
民間の有力者を加へ 官民協力達成を希望

最近總督府では臺北市の市區計畫を實施するにつき愈々具體化して來たが、大臺北市の市區計畫は多年の懸案であって、既に決定した大臺北市の市區計畫も其の實現を見なかったものである。

運時 の變遷がある。臺北の市區改正は明治時代に始まるもので其の後各方面の調査に研究を重ね今日に至ってゐる。

郊外 生活者の數は年々増加して郊外に郊外にと市外は膨脹してゐるに拘らず、大臺北市の計畫が進められてゐないので市民としては迷惑し、郊外に出ることの市區計畫地以外に居住し、道路の狀況も不便で家屋建築の

制限 もない爲めに勝手に家を建て或は道路をつけるといふわけで將來大臺北市としての發展を阻害されてゐる。

缺點 なしとしない。之は官民協力一致の達成を希望してゐる向もある。

確立 してない結果ロ出しが出來ないと云ふ立場にもあった

名案 實行不能となるべき地域もあらうと思ふ、市區計畫の實施が今日迄遷延した理由である。

將來 此道路が無くてはと指示こそないが

分蜜直消糖の 三期分割協定
十二日成立調印終る 原料糖は八圓六十五錢

【大阪十二日發本社特電】糖業聯合會では昭和七年期(三月より明年三月迄の十三ヶ月)の供給を分割するに二期にするか三期にするかの點で行悩んでゐたが十一日に至り分蜜直消糖六百萬擔より島内消費三十三萬擔を差引きたる五百六十六萬四千擔を左の如く三期に分割する事に協定成立し正式調印を終った

第一期 (三月より八月迄)二百三十五萬擔

第二期 (九月より十一月迄)百七十四萬擔

第三期 (十二月より三月迄)百五十七萬四千擔

尚一月分原料糖買値段を八圓六十五錢と決定した

商銀總會
引續き無配當 取締役を改選

臺灣商工銀行の第四十三回定時株主總會は本月二十八日午前十時から臺北市大和町同行樓上に於て開催することに決定したが今期の配當は十二日の重役會で引續き無配當に内定した、同行今期の利益金處分案左の如し

一金一百三十一萬一千五百七十六圓　總益金

一金一千七百八十五圓

糖界の模様變る
分蜜は先行十圓もあらう 米價高の影響と糖業

再禁止の斷行で財界糖界の大勢は變化した、世界糖界の大勢は未だ好轉の曙光も見えないが昨年成立した國際協定の結果本年度の減産がいよいよ實現して需給の改善となり世界の糖價に反映して來るのは

本年末 でないかと思ふ 最近一九三三年度爪哇糖の五割減が傳へられてゐるが

爲替安 だけを見ても爪哇糖の輸入が一層困難となる

九圓に 買ふは困難だと思うたのであるが

中部の 製糖會社としては

米價を 始め農産物の價格を

甘蔗は 一般に成熟遅れ

霜害は 彰化工場附近の

根は生 きてゐるから

鮮航同盟會
三井に讓歩 二分減 配の六分とする

【大阪十三日發本社特電】

工材信用總會
配當年六分

臺北工材信用組合の第六回定時總會は本月二十三日午後一時から鐵道ホテルにて開催、年六分配當を行ふことに役員會で内定した

海外三支店設立と共に 玖馬にも著目
三井物産の積極方針

【大阪十三日發本社特電】三井物産は海外に三支店増設を十九日の總會に附議することに決定し

原糖值段
決定の基礎

【大阪十三日發本社特電】糖業聯合會では十一日同會事務所に原料糖買値段を一擔八圓六十五錢と決定した

臺北製糖歩留
一割二分五厘

臺北製糖所は本月四日より壓搾を開始したが

員林檢米所
檢查成績

員林檢米所の昭和六年中の檢查成績左の如し

勸銀當籤
初春の福運者は誰

勸業債券(小券)一等　▲十四回(千)　▲十八回(千)

復興債券(二等)

繋船より出動へ
社外船の遠洋配船漸增

【大阪十三日發本社特電】金輸出再禁止で息づいた社外船は更に配船打開の意氣込みで遠洋配船の計畫を立て

極東運賃同盟
定率運賃の引上決定

【大阪十三日發本社特電】

(米界漫言)

大臺北市區改正は
一日も早く實施を望む

大臺北市の市區計畫改正につき中辻喜次郎氏は次の如く語る

懸案だけに 一般市民としては

民間側を入 れると云ふ事

大臺北市の 計畫が進められると云ふ

將來進展の 爲め大に歡迎すべきであると共に之が一日も早く實施される事を期待する

東西南北

臺中米價(十三日)

基隆在庫米(十三日)

正米市況(後場)

昨日の市況
株式強調 綿絲低落 期米弱い 砂糖保合

商況 十三日

米況

臺米相場

正米市場

大阪期米

東京期米

神戸期米

堂島米況後場

糖況

株況

東京短期

東京長期

大阪短期

大阪長期

東京國債

東京銀行貨株

東京株況前場

倫敦

大阪現物

大阪定期

銀塊

殼肥

神戸豆粕

神戸殼肥

大連銀塊

大連取引所

魚類卸相場表(十三日)

東亞の謎 (174)

作者 國枝史郎　畫家 伊藤順三

小夜子と南部(二)

「チエツ」

と、次郎は舌打ちをした。

それから包から外へ出た。

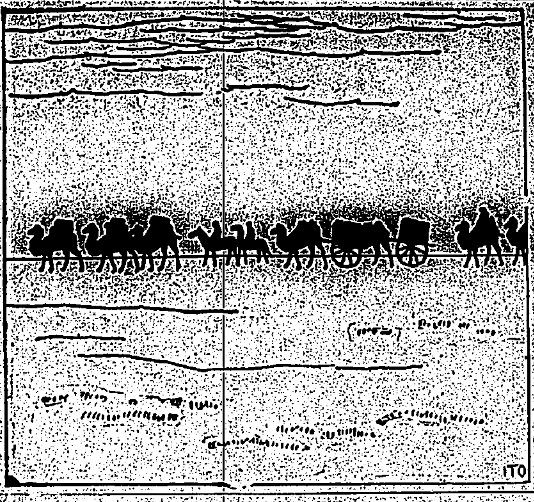
「蒙古の騎士も女たらしは宜いや、すくなくも私がゐなければ、蒙古青年國民黨は、リーダーを持つことが出來ませんからなと、大きく出たところがインチキさ。なあにあんな南部に、蒙古がリードなんかされるものか。とはいへあんなことを聞かされると、夢見がちの日本のブルジョア令嬢は、ボーツとしてフラフラして感激して、戀の奉仕を努めると來やがる。……蒙古なんか日本が取つちやうのさ。……半分以上取つてゐるともいへる」

次郎は周圍を睨み廻はした。

ウロ〳〵犬でも寄つて來やうものなら、蹴飛ばしてやらうと睨み廻はした。

犬も用心したらしく、仲々寄つては來なかつた。

遠くから彼を見て只吠えた。



包が點々と立つてゐて、人々が出たり這入つたりしてゐた。家畜が無數に放牧されてゐた。

羊や、牛や、馬や、やく牛や、さういふ動物が歩き廻つてゐた。

焚火を取りまいて話してゐる者、羊を追ひ廻して笑つてゐる小供、紡線車をくつてゐる女、……そんな人々があちこちに見えた。

沙漠は闊く、ただ固かつたその沙漠に日があたつてゐて、微風がその上をなでてゐた。

と、遙の地平線を、旅行者の群が紐のやうに、小さく長く連らなつて、向ふへ行くのが次郎の眼に見えた。

「車と馬と駱駝もゐやう」

それは宛然繪のやうであつた。

× ×

その旅行者の群の中に、南部正雄と小夜子とがゐた。

南部は馬に跨がつてゐたが、小夜子は車に乘つてゐた。

あの喇嘛廟の騒動の際、南部と小夜子の二人だけが、伯とも次郎とも別々に別れた。さうして一臺の自動車へ乘つた。

それへ乘つて目茶々々に駛つた。いつの間にかみんなと離れ離れとなつた。

夜が明けて翌日になつた時、たうとう自動車を乘り潰してしまつた。

すつかり途方に暮れてゐるところへ、通りかかつたのが旅行者の隊で、滿洲里の方へ行くのだと云つた。

そこで二人は頼み込んで、連れて行つて貰ふことにした。

一行は今進んで行く。

遙の彼方に日に光りながら、包が點々と立つてゐるのが見えた。

繪のやうだなと二人は思つた。

まさかに其處に洋子や次郎や、ダクトがゐやうとは思はなかつた。

一行は先へ進んで行く。

さうして間も無く包の群は、眼界の彼方へ沈んで了つた。

車の上の小夜子の姿は、窶れて痩せてゐた。寂しさうでもあれば悲しさうでもあつた。

次々に起こつて來る恐ろしい事件に、彼女は揺がれて了つたのであつた。

伯爵と、懸しい伯爵と、別れて了つたといふことが、彼女を致命的に弱くもしてゐた。

今日の沙漠は明るく閑く、平和でさへもあるのであつたが、彼女の心は不安であつた。

陳清汾君の個展に就いて（下）

小澤秋成

清汾君は幼にして繪畫に志し早く郷門を去つて京都、關西美術院に學び、後東京に轉じ、日本美術學校へ入學、間もなく同校展覧會出品の處女作が選ばれて、一九二七年の金賞を授與せられた、前後して一九三〇年展及び二科會展に入選して既に其技を認められた、進んで有島先生に師事し、其渡歐に當つて伴はれて、パリに遊學することとなつた

◇―◇

自分が清汾君と相識つたのもパリに於ける有島氏の畫室に於てであつた、當時パリには有爲の青年畫家が澤山留學して居たので、交友の際知らず知らず見聞を廣めて行つた、又知名の畫家例へばココシカ、ザツキン、キスリン、藤田、エプスタイン、アスラン、ウダレー等と親しく交際して大に得る所があつた

◇―◇

これは特別な場合で、恐くの日本青年がかく外國知名の美術家と交際し、研鑽、練磨の機會を得るものではない、清汾君はその謙遜な性格と人に愛される良さによつて、かかる特別な便宜を得たことは特記せねばならぬ、例へば先日、本紙に掲載されたる記事、或は茲に掲げたる寫眞によつて見てもいかに君がパリに於て、隔てなく、その地の畫人達と交歡したかが窺はれるであらう（茲に掲げる寫眞はココシカ氏の畫室の一隅である）一枚の日本畫の上に清汾君（左より）藤田嗣治、ココシカ氏木下義謙氏、モデル等相集まつて日本食を喰つた記念寫眞である

◇―◇

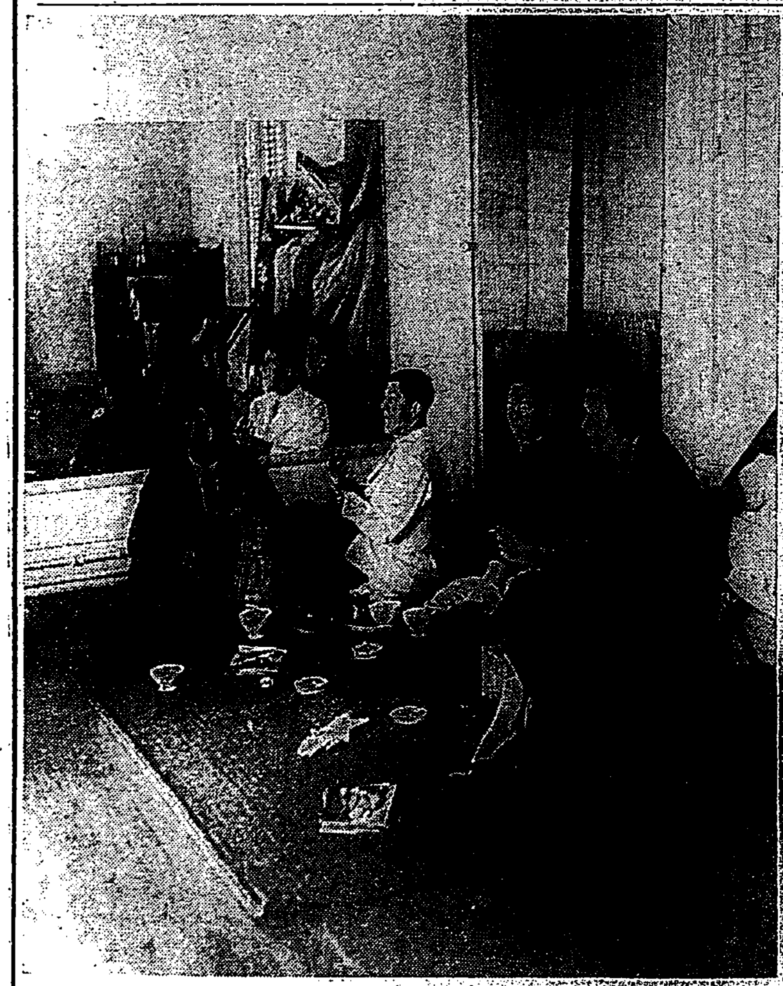
ココシカ氏は云ふまでもなく現今獨逸第一の畫家で、昨年の二科展にその作品七點が陳列されて斯界の注目をひけるは、世人の記憶に新な所である、この作品の出品の如きも全くココシカ氏と清汾君の交友の賜物と云ふべきである

◇―◇

今春、老大人天來氏の還暦の賀宴に列する爲め、清汾君は留學中途にして暫く歸臺した、この機會を利用して一般に作品を公開することになつた、本島人にして遠く歐洲にまでも留學し、多年苦心創作の成績を個展して本島に發表せるものは實に清汾君を以つて嚆矢とする、臺灣美術史は長くこの一事を記念するであらう、例へば明治時代に伊太利に留學せる川村清雄、獨逸に於ける原田直次郎、佛蘭西に於ける黒田清輝諸先覺の業績は即ち本島に於ける清汾君のそれとならぶべきものと云はねばならぬ

◇―◇

清汾君は年齢まだ若い、今後幾多の研鑽修業の途を経て大成されねばならぬ、それには君自身の決心も容易の事ではないが內にあつては老大人初め家兄等の鞭打、鼓舞を要望し、外にあつては輿論の同情あり、且つ熱心な後援がなければならぬことと思ふのである、本島が先づ清汾君の如き惠まれたる才能と準備との下にある畫人を先頭に送つて美術の巡路を開拓して行くことは極めて有意義であり、喜ぶべき機會である



（寫眞はコ、シカ氏の畫室に於ける陳清汾君）

照南丸に便乘して（三）

排日の盛んなマニラ市

遞信部海事課員 吉開右志太

外國に來ると全く不便だ。比島ラシバー會社に安藤氏を尋ねやうと思つても其の店が不明、電話が駄目、結局誰かに案內して貰ふより方法はない。無理を云うて土人に案內して貰うた。お互に啞の同行である

◇今思ふと マニラ市の心臓であるエスコルタの繁華な通りを歩いたのだが、オッカないので案內者を見忘れないやうに懸命に歩くのだつた。七、八丁も來たらうか、右に折れる左側にはダラー汽船C、P、Mの代理店が並んでゐる。其の隣の入口を階段にかかると二階がすぐ比島木材である。安藤氏は快く招じ入れて四方山の話の序に我國の對外交政策の不備に就いて意見を述べられた。成程と思はれる點はある。水越氏も今當地に居られるさうな目下バギオに旅行中とのこと、或ひは御會ひ出來るかも知れぬと思つた。明日の日程の打合せをして私は中村氏から紹介狀を頂いてゐる臨井といふ旅館の主人を尋ねた。これも案內がつかなければ行けないので社員の若い邦人をつけて呉た

◇當地名物 の馬車に乘る。粗末な車だが馬が小さく可愛ゆくて如何にも氣分が面白く不思議に感じるので私は大概此の馬車が珍らしく氣に入つて仕舞つた。賃銀も安い。内地の俥と同様に匹敵する交通機關である。自動車の多いのには驚くの外はない。人口約二十七、八萬と呼ばるる當市に百人に一臺位の比率にはなるだらうといふ。月收百五十圓位の生活者は必ず一臺の自動車を持つてゐるといふ話である。そんなに自動車は多くてもタクシーは決して安く乘れぬ。大抵の所は一圓である。殊に外人にして土地不案內の者と見られたらウントボラれると云ふ話、バスも多い

◇赤バスで 型も大きい。定員多いのになると百人位は乘れさうだ。窓にはなつてゐない、熱帶の土地丈に風通しがよい。四方開放されて居る。經費も節約である。西川旅館に案內された。此處にも邦人のグループがある。私は今朝から[illegible]さへ見れば安心だ。再三邦人漁船が比島沿岸を荒らし過るといふ事を耳にした。其の事情は知つてゐるがどの程度に邦人が迷惑を蒙つてゐるか知らなかつたが此の地に來て初めて其の實情を知ることが出來た。兎に角不正不合理な行爲で利益を得ることは取締らなければ

◇誤解を招 く恐れがある。さなきだに邦人は各國で排斥され易い。其の原因の一つは確かに斯かる行爲によつて醸成されてゐるに違ひない。邦人の總てが迷惑を蒙つてゐる。領土的野心は毛頭なくとも悪感情の堆積は自然にこぼれて來る。注意しなければならぬ。比島全體に於て支那人の勢力といふものは大したものである。人口正に十萬と稱せられ、マニラ市內に於ても四萬を降らぬといふ。滿洲事件によつて彼等支那人は排日氣勢を揚げ、過般來頻りに集會して排日排貨の決議を為し比島支那總商會の名の下に華僑代表者を北米利加に派遣し米國の公衆を支那側に好轉せしめんとする運動に著手するといふ。馬尼刺市に

◇邦字日刊 紙商工新報といふのがある。支那人の意見として揭載されてゐたやうだが、日本は滿洲に領土的野心があると共に比律賓に於いて其の野心は今に表面化するであらうと、ダバオに於ける日本移民は現在年と共に增加しつつある。將來日本の勢力がミンダナオ島を支配する程度になるのも遠くはない。其の時に當りいづくんぞ日本が領土的野心がないといへやう。第二の滿洲事件であると、其の論調頗る激烈であるが、何を申すも領土ならば當然拠るはアメリカ、領土はヒリツピン、如何ともする能はずであらう、僕楽者の獨りは道を辿うて

◇支那人街 に入つた。何處も同じで支那人は獨特の紅い紙に墨で字を書いて戶口に張り付けて居る。處々には大概米國打倒日本、暴國打倒の意味を表記してゐる。子供は竹で鐵砲を作つて邦人に向ける。ひどいのになると小石を投げるといふ狀態である。聞く所によると排日排貨の爲めに支那人商店のうち邦品を主として取引してゐる家が二、三閉鎖したといふから其の程度は略推定出來るであらう。臨井氏の親切で私は邦人寫眞店山本商店にマニラ市の寫眞を見に行つた。旅行の思ひ出は寫眞によるを最も便とする。眼に映じ忘れ得ぬ所は寄り集めて贈ることにした。

昭和壬申 春聯帖

石上三年輯錄

（二）

東京 平井卯之助

たたかひは夜はにをはりて勝ちときをあぐる聲なく臨鳥のなく

同 赤石 定蔵

一聲をまづ聞きとめてあかときを軍より先に出づるよりはも

同 [illegible]

暁の闇の彼方の[illegible]

同 [illegible]

ひむかしにあか[illegible]見えてねぐらには羽音たかくもかけの鳴くなる

打ち羽ふき羽音とよめていさましくあかつき告ぐる家鶏のもろ聲

京都 三浦 昌一

音も木もさめよとばかりあかつきのそらとよもしてかけぞなく

同 三浦 [illegible]

初霜や川出る[illegible]の夜明ぶり

初雞の聲にやぶれて四方の闇

同 小野 隠雄

無門山餘殘久盛 待有行酒一尊

安祭詩此夕将亡 梅影窗前坐

夜闌 辛未除夜所感

大阪 佐々木針次郎

月影のしらむひろ野のあかつきをもるつはものやきくとりの聲

同 金ケ池 秋澤 次郎

大いなる國の姿を新春に鳴き渡へむ民草われら

鋭を鍛る鋭を持ついづれ別なし御國に報ゆ心の誠に

ことしげき春にしあれば諸鶏の心の鍛りて力ぞ添し

同 四馬 健也

世の眠さめよと鳴くかにはつとりあかつき告ぐる聲の高しも

[illegible] 細野 中三

[illegible]

神戸 中野 常春

ぬば玉の暁暗に 天の戸は明くるとつげて 賢つ鳥鷄は鳴く 玉ちはふ神代にありて 天照らす日の大み神 岩屋戸にこもりましし 大前に長鳴きしつつ いそしくもつかへしといふ 故さも聞ゆも あもひ出られ うつし世のいまに至るも 恐ひ金神のこころと 日ごとに暁をつげ 夜ごとに時を明くるをつげて 常とはに時を違へず 世の人のねむりさますか 暁つ鳥鶏の鳴く音は おほに聞くべしや

武郎のねの空もしらみてあけちかくなるをのさとにかけの鳴くなり

長田のや杜もしらみて大前にあかときつぐらむかけの音ぞする

ねやの戸をあけがたちかく鳴くかけのまくらにひびく聲のさやけさ

同 宮田 [illegible]

いはけなきかけもけふより暁を親にならひて告げそめに鳴

JFAK 十四日

▲午前六時三十分 朝の挨拶▲ラヂオ體操▲今日のお天氣のお知らせ(臺北測候所發表)
▲午前八時 全國氣象通報(東京)
▲午前九時三十分 家庭百科問答 ▽行つて參りますといふ言葉 ▽[illegible]の適當なる磨き方
▲午前十時 今日の家庭料理獻立 ▽吸物替五色蒸 ▽馬鈴薯の吉野あん
▲午前十一時 日用品小賣値段 臺北市公設西門市場發表
▲午前十一時五十九分 正午の時報 ▽氣象通報臺北測候所發表
▲午後零時十分 放送局出報ニュース
▲午後零時[illegible] [illegible]ジャズ[illegible]「忘れない」「下さい」[illegible]「ワーマイジ」[illegible]「過ぎし日」ベートーフオン・ダンス、オーケストラ 五、「シンガポール」六、「オリエンタルタンゴ」ダホス・ベラ 七、「ホノルルの花」ギノーボデイン、ハワイアン・オーケストラ 八、「シルヴイア」ワイスマン・オーケストラ
▲午後五時 子供の時間(東京)「未定」
▲午後五時三十分 公民常識講座「[illegible]」講師未定
▲午後六時 子供の時間 ピアノ獨奏と童謡齊唱 幼稚園兒 一、ピアノ獨奏、ソナチネ作品二十、クーラウ作曲 [illegible] 童謡齊唱イ、大きくなると[illegible]ロ、手のなる方へ(野口雨情作詞、中山晋平作曲)ハ、おみやげ三つ(西條八十作詞、中山晋平作曲)ニ、しやぼん玉(野口雨情作詞、中山晋平作曲)ホ、すすきと月(水谷まさる作詞、中山晋平作曲)ヘ、木の葉のお舟(野口雨情作詞、中山晋平作曲)ト、雀の學校(北原白秋作詞、弘田龍太郎作曲)三、獨唱「牧場の朝」稻田郁子
▲午後六時三十分 講演「圖書館の組織と機能」臺北帝國大學附屬圖書館長田中長三郎
▲午後七時 放送劇(東京)
▲午後八時四十分 新內「夕霧伊左衞門」鶴賀小滑
▲午後九時二十分 時報、氣象通報臺北測候所發表、翌日ニュース△放送局編輯ニュース△公示並告知事項△明日のプログラム發表

新刊紹介

◇國民の日本史(江戸時代) 本著は早稻田大學教授の西村眞次氏の編述であつて、江戸時代創始期を述べたものであるが第一齋動搖せる時代の紛紜より第九齋鎖國政策に至る迄、武家政治の復興、家康とその事業、民衆勢力の出現と其發達、江戸の都市的膨脹、中央集權の成功、社會組織の改造、時代を代表する社會的文化的學芸政を更に各數節に分ち詳細に記述してゐる。著者の筆致が如何に麗妙であるかは今更ら云ふ迄もないが讀んでゐる中如何にもその時代に生きてゐる如く感ずるのは著者の眞面目なる研究底知れない知識の賜であらう(四六版七〇六頁△東京市牛込區早稲田大學出版部)

◇代數學狙ひ所(越智浩成著) 本書は最近行はれた官公私立各校の入學試驗問題を經とし內外の諸書に見える必要な問題及び著者自身で拵へた問題を緯として編纂されたもので、その編述の方針は論法が論理的である事と學習者をして自ら研究的態度をとるやうに導くこと、應用力を增加せしめること等に力を注いでゐる、數學は多くの學生の最も困難とする學科であり然も學力優劣の差の甚しい學科である、殊に高等學校及び各種專門學校の入學試驗にて必ず受驗せねばならぬ學科である、それが爲に之が受驗用の參考書も非常に夥多であるが本書の如く一歩深入をした研究法を示し眞に受驗者の味方となる參考書は少ないであらう、又特に本書の讀者に對して不審不明の點があれば自由に質問されることを希望してゐるから受驗者には何更便利であらう(四六版四七四頁定價一圓五十錢△東京市小石川區水道端二ノ一〇文明社)

△女人藝術(新年號) 從妹への手紙(中條百合子)資本主義の一般的危機(河上肇)戰線の彼方へ(戯曲)(ウエー・キン作湯淺芳子譯)東モス第二工場(中村たか子)その他に毎として座談會記事がある(四十五錢△東京市牛込區左內町三十一番地女人藝術社)

萬なかだち

求職一件一回 壹圓貳拾錢
其他 一回 壹圓七拾錢
死亡名告 [illegible]

見習看護婦 及女中入用年十五歳以上 [illegible] 表町二ノ二電八八六 [illegible]醫院

書生入用 小學校卒業程度 本人來談あれ 表町二ノ二電八八六 [illegible]醫院

麻雀倶樂部讓る [illegible]

電話賣物 [illegible]

電話恩給 [illegible]

高雅な化粧美
あらゆる美を
自由に自在に
表現の出來る
クラブ白色白粉

二酸化チタニューム配合

クラブ白粉

臺灣總督府編纂
二十万分一 臺灣堡圖
總數 四百十枚
定價 一枚二十五錢
送料 四枚迄 四錢
發行所 臺灣日日新報社

最も毛髪の爲に良い香油
ラブアツソイ
香りゆかしくおぐし上げの美一際に
本舗 東京 井筒屋香油店

馬上豐かに（觀兵式の諸兵指揮官、渡邊錠太郎大將）

吳佩孚に一切を任せ 學良は下野せん
北方元老會議を開いた上で

【北平十三日發電通】……を率ゐて北平を引揚げた吳佩孚は……五原に到着したので……は吳佩孚に北方元老會議を開いた上で吳佩孚に一切を任せて下野すべしと云はる

奉天省政府が 匪賊討伐に著手
靖安遊擊隊を組織する旨 各縣知事に通牒

【奉天十三日發電通】奉天省政府は滿洲一帶に跳梁する匪賊討伐に著手することとなり十三日各縣知事に對し靖安遊擊隊を組織する旨通牒した

天津の關東軍 山海關に向ふ
居留民の歡送裡に

【天津十三日發電通】關東軍に屬する朝鮮軍中より天津に急派されてゐた〇〇隊は山海關にある主力と合し錦西方面に向ふべく今朝九時四十五分北平よりの部隊と合して居留民の歡送裡に山海關に向つた

平田聯隊が 討伐開始
戰線急速度展開

【奉天十三日發聯合】平田大佐指揮の步兵第〇〇聯隊は興隆甸に部下野田中尉の率ゐる先發隊第〇〇を先遣として直ちに南方に向け匪賊討伐を開始し……匪賊を驅散らし本軍と協力し戰線急速に展開中

室、多門兩師團 行動開始
一齊に兵匪剿滅

【奉天十三日發電通】我軍は室、多門兩師團、甘井旅團の大部隊を以て打通線方面進出中、錦安一帶の兵匪を剿滅すべく十三日早朝より飛行隊の活躍と呼應し一齊に討伐を開始した

警察隊も急行

【奉天十三日發電通】公太堡西方の兵匪數百名を掃蕩すべく出動した〇〇隊と共に奉天警察隊でも之と協力する爲め十三日午前六時小坂警部以下二十名の警官がトラックで步兵隊と機關銃を擁行現場に急行した

奉天駐剳聯隊 興隆店に急行

【奉天十三日發電通】山奉線興隆店一帶の匪賊討伐の爲め奉天駐屯〇〇聯隊は砲、騎、工の各隊と共に十三日午前四時奉天發興隆店に急行した

錦西附近で 匪賊と激戰

【錦山十三日發聯合】錦西の秩序は回復しつつあるも敵は侵を狙つてをり、形勢險惡のため〇隊主力は十三日午前七時三十分連山發錦西に向つて追擊し匪賊と激戰が開始された

滿洲事件費 約二千萬圓
六年度追加豫算として 急速に計上されん

【東京十三日發電通】來る二十日までの滿洲事變費は第二豫備金より支出を了せるが、同月以後の事變費も急を要するので十二日陸軍省は大藏省に右要求を提出したが三月末までの二ヶ月分と一時費支出總額を合し一千二、三百萬圓に上ると見られ、大藏省は十三日閣議……

臺灣在鄉軍人會の 後援會の創立
十三日打合會を開く

……十三日午後一時より……

南京新政府は 寄合ひ世帶
長崎で重光公使談

……公使は……特色である……

賓縣政府に 歸順せよと通牒
吉林省政府主席から

【ハルビン十三日發電通】……

愛國號
太刀洗著

【太刀洗十三日發電通】我が空界の新鋭力愛國一、二號機は十三日朝大阪城東練兵場を發して歡呼裡に太刀洗著十四日官民合同歡迎會の後午前十一時……

酒煙草の 景品付賣出
好成績を收む

……

拳鬪界入りと決定 武藏山聲明を發す
新興力士團の內情も暴露

【東京十三日發電通】新興力士團を脫退した武藏山は十三日午後一時左の聲明書を發し拳鬪界入りを聲明した……

武藏山密かに 春秋園から脫走
新興力士團に動搖

【東京十三日發電通】相撲協會脫退力士團新興力士團の武藏山は十二日午後六時病氣と稱して新興本部を出た儘歸らず密に脫走……

拳鬪界入りを聲明した武藏山（結髮中が新小結）

圖書館週間第三日
可愛い小學生が 圖書館見學
建成小でも催し色々

……

明石男爵結婚

……

十六日から 良書展覽會

……

ハンドバック强奪の 不良少年捕はる
十五、六回も同樣犯罪

……

士林の圖書館週間

……

故工藤祐舜氏 葬儀

……

勅使差遣

……

盛京丸鳳山丸 十二日入港

……

外國綿布を 徵發燒却
苦力の反英 抗爭激化

……

日華紡の喜和 工場閉鎖

……

現在のままで 政權維持
孫科ら南京へ

……

太田總督 歸北の途につく
南端視察を終つて

……

臺南州佛教會 創設計畫

……

原泰二氏離臺

北二師附屬公學校で生徒を募集

仙臺同鄉會で名簿作製中

甘蔗を……

臺北市設運動場の 主管を改正

北理髮組合總會

同聲俱樂部總會

田中教授が放送

〔美談集〕

南端の……

宮崎市の火事

【宮崎十三日發電通】宮崎市松山町泉亭前朝鮮料理業川崎一郎方裏の空家より十三日午前五時發火折柄の强風に煽られ忽ち自動車部を燒き火勢烈しく川原町本通に出で更に昭和町方面に延燒し水利の便あしく全燒三十戶、半燒四棟を出し七時半鎭火した原因其他取調べ中

佛教講習會

……

帝大音樂部の 大演奏會
十六日高校講堂で

昨年その第一回演奏會を臺北に開いて……非常な反響を起した臺北帝大學友會音樂部では來る十六日午後七時半から臺北高等學校講堂に第二回演奏會を……

新竹女子公の 落成式
十三日舉行

【新竹電話】……

〔特別廣告〕
內科花柳病 山本醫院

陸の海賊 髭の力 世界館

◎水月カフェー部の優待
▼カクテル一盃二十錢
本店カフェー部にて十六日より廿五日迄五日間に互り謝禮の意味に於て右五日間階上に限りカクテル二盃廿錢にて差上ます何卒續々御來店の程偏に御願ひいたします
臺北市榮町 水月カフェー部

漢文臺灣日日新報

吉黑兩省步驟已齊
馬占山願與新滿蒙獨立國合
率兵入齊維持治安貢獻親善

十二日長春電。齊々哈爾。滿倫間電信電話。經二年已復舊。滿倫馬占山。對我鈴木○團長。傳有欲率手兵。入齊々哈爾。維持治安。與新滿蒙獨立國合流。以圖三千萬民衆之福利。而舉保境安民之實績。貢獻日華親善之誠。於是吉林黑龍江兩省。設建滿蒙獨立國之步驟以齊云。

三千兵匪奉天附近
謀襲市政公署
我軍今曉與兵掃蕩

十三日奉天電。最近奉天附近。有三千兵匪潛入。有一兩日中。狙擊奉天市政公署之報。關東軍。方欲嚴戒。勢乃大西方。九里與流店。附日夜有數百匪賊出沒。勢在難放諒。我軍自十三日朝。與兵掃蕩云。

遼西兵匪一萬五千
襲擊滿鐵線路
多門○團往伐

十二日鞍山電。遼中。台安。盤山。三縣。滿洲統。老北風。所率兵匪。約一萬五千人。最近以攻滿鐵線。又襲佟二堡。劉二堡。多門○團。並派川村大佐。爲總指揮官。十二日朝十時。率軍往伐。遼陽步兵第○○聯隊。八士滿騎兵第○○聯隊。及海城野砲隊。自遼陽。湯崗子。齊進西方。十三日開始攻擊。預定一週拜內。將遼中台安一帶兵匪殲滅云。

村井○團空陸兩面
攻新立屯黑山兵匪

十三日奉天電。打通線兵匪。依然聚於新立屯。黑山方面。我村井○團。與彰武方面鈴木○團相呼應期自十三日。自空陸兩面。徹底殲滅云。

兩師一旅及飛行隊
齊伐遼中兵匪

十三日奉天電。我軍且以室。多門兩師團。村井旅團大部隊。剿滅打通線方面遼中。台安一帶兵匪。十三日早朝。與飛行隊相呼應。一齊討伐開始云。

南京政府實力如何
切望諸懸案早解決
重光公使中國時事談

十三日長崎電。日華直接交涉之機已動。重光公使爲與本省面商重要事務。三日午後零時半。乘長崎寄港上海丸歸家。公使所言如左。

此行歸朝。爲滿洲事件發生後。中國事態變化。欲與新內閣。磋商事務。想得與且任新外相之芳澤氏。交換意見。中國時局。最注意者。南京政府實力問題。從來中國中央政府。大抵以一派勢力創成。此回則網羅各派有力者。是一特色。能否十充分團結。以當國政。現在三五頭。皆假財政棘手。我輩切望早建有力中央政府。解決諸懸案也。

川越青島總領事
强硬態度披瀝決意

十三日青島電。川越總領事。關僑民大會決議。關青島中國報紙揭載不敬記事件。披瀝決意。

我陸戰隊警備
中國人亦信賴

十三日青島電。十二日夜。日本陸戰隊上陸。合出雲八雲兩艦。爲○○○。固守要處。華人一淡。亦此信賴保安隊。巡警隊。略當待備云。

馮氏赴寧
難局得打開

十二日上海電。當地留滯中之馮玉祥。見中央難局打開之曙光。計十三日午前九時半。與國民政府諸要人同車。先赴南京云。

維持政權
孫科等赴寧

十三日上海電。孫科。陳友仁。瑪玉祥等。爲新政權維持計。今朝齊赴南京云。

農相西下

十三日東京電。山本農相爲熱田神宮參拜。就任奉告。十三日午前九時。發京西下云。

臺銀券汚損燒棄
千五百八十八萬圓

臺銀發行券。年中整理汚損銀行券。如汚損紙幣。悉以汚損券。轉交發行課。而發行課。以二十數名女事務員整理。其整理損券。如至相當額數。則請督府金融課員立會後。於臺銀所備置燒棄釜。本部燒却。于每週間一次。或二週間一次行之。昨年中燒棄額。多至一千五百八十八萬四千圓。就中爲一圓。五圓。十圓。五十圓。各券。間以一圓券居多。在昭和五年中。燒棄額一千五十六萬六千圓。此等紙幣。九成九分爲島內融通。而各郡市地方。應有相當汚損者。殊不易入手。然若一入窓口。損券不再發出。而市面反有相當汚損券。如有此損券。請持到同行。交換新券。要之數年間。或十數年間。于島內各地所使用之損券。臺銀發行課如是收回。一箇年燒棄千五百萬圓。

市民集故址
大呼快哉

十三日青島電。青島市黨部。長年爲民厭制。爲一般省民怨府。一經焚燬。數千群衆。於故址大呼快哉云。

株子山兵匪
經已擊退

十二日撫順電。株子山川村部隊。寺田警察署長。所率警官隊。往伐株子山兵匪。激戰三時後。將兵匪擊退云。

定例閣議
首相訓示案
無異議可決

十三日東京電。十三日定例閣議。午前十時開會。犬養首相以下閣僚出席。大角海相。報告當局事件。森書記官長。則讀首相將於十四日地方長官會議。訓示原案。無所異議決定。次決定臺灣總務長官更迭。同十時十分散會云。

樞府定會議
別無議案
只請聖安

十三日東京電。樞府十三日午前十時。於宮中開定例會議。倉富。平沼正副議長。以下顧問官等。如例參集。別無議案。一同參內。拜謁請安。十時半退下云。

汕頭廣東
兩醫院經費
不足三萬圓

對岸督府經營之汕頭。廣東兩醫院。自昨年一月下旬。因抗日會在門外阻止。故中國人不敢到院就醫。

奉天警隊帶步兵砲機關銃
急往公太堡西方

十三日奉天電。公太堡西方有兵匪數百名。出動○○隊與奉天警察署。協力掃蕩。十三日午前六時。小坂警部以下二十名警官。帶步兵砲機關銃。急行現場云。

駐奉聯隊赴興隆店
討伐一帶匪賊

十三日奉天電。山奉線興隆店一帶匪賊橫行。奉天駐屯○○聯隊。與砲、騎、工各隊。十三日午前四時。齊發奉天。急往討伐云。

時評

○滿洲事件費。確屬緊急的。況多年開出。事後承諾。實非得已。豈議會議論。所得而左右哉。

○國家方遭大難。未能解救。

且新組政府。似尚無人擔承。政黨機關報。不早大聲疾呼。主張善後。奈何乘隣人不祥事。肆意諷刺乎。

○此等輕薄舉動。得占便宜。猶非君子的態度。矧至於滋事吃虧乎。不智不智。

識者恥之。

○現內閣。成立一月餘。于今官休職。以平知事。補其後任。政府之意。有可想見者。

○督府自有長官來。至現總務長官休職。易十三人。如休職。的是開一新

○新長官。年猶相當。且老於地方行政。自治行政。近將來履新之後。於改正現行地方制度。一層擴張自治權。可得而期待也。

僅在留邦人而已。遂不足二萬五千圓。以是經費當局現考究對策中云。

臺北州
農家經濟
調查磋商期

臺北州。計來二十五、六兩日。在州廳會議室。招集郡、市、街、庄技術員。開農家經濟調查磋商會。出席者。豫定十四、五名云。

某篤志家
訪鎌田中將宅
獻義金千圓

獻納飛行機。募集義金事。受官民各位贊成。及在鄉軍人之活動。克准相當佳績。該金額。日下在督府及軍部首腦者間。熟議分配額。待決定後。更行募集。去十二日。有市內某篤志家。訪鎌田中將自宅。匿其姓名。置金一千圓。云欲獻飛行機建造費而去。鎌田中將。甚對該篤志家。十分表深甚之謝意云。

嘉郵局裁員

嘉義郵便局。因行政整理。去十一日發表。爲替貯金保險等。各係裁減一名。電話係二名。內地人四級俸以下。島人判任官以下各三名。計六名。

北一師附公
募集兒童
限廿三日截止

臺北第一師範學校附屬公學校。欲募集來四月入學新兒童。男女約五十名。出願期。限至一月二十三日截收。志願者。可至急向該校取入學用紙云。

滿洲事變費二千萬
六年度追加豫算
大藏方針決定

十三日東京電。至來二十日。滿洲事變費。第二豫備金已支出了。是日以後事變費。亦屬急要。去十二日。陸軍省。求之大藏省。至三月末之二月分。及一時費支出殘額。合計一千二百萬圓。大藏省十三日。因陸軍正式要求。特開省議。念以爲第一號六年度追加豫算決定原案。分海軍。外務兩省所屬。將本年度餘二月分。追加。總額近二千萬圓云。

新竹女公
新築移轉
落成式詳報

新竹女公新築移轉落成式。十三日上午十時起。有猪股知事臨場。定刻由岩爪技手。報告工事。及由木市尹式辭。知事訓示。畢藤川教育課長。及桑原州協議會員。併村木一公校長等。代表來賓祝辭。次張式穀氏代表保護者祝詞。最終仲川校長答辭。後。齊唱落成式歌。方即退場。新校舍建坪總數二百九十六坪五合三勺。工費五萬九千餘圓。自客歲四月十六日興工。至同年臘月二十日告竣云。

前長官謝絕他訪客
與林獻堂在與應接室會談
長官被命休職此回嚆矢

木下總務長官。去月十三日。因內閣更迭後。欲整理殘務。同月二十九日歸京。以急解決重要案件。更定十五日上京。昨十三日突然間被命休職。是日午前十一時半。有往訪長官官邸者。却見木下前長官。謝絕其他訪客。獨在與應接室。與林獻堂。蔡培火。葉榮鐘三氏會談中。官邸入口。訪客待合室中。僅有一本島人紳士。欲待面會。又臺灣總務長官。被命休職。以此回爲嚆矢云。

桃園郡街庄
協議會日期

桃園郡下街庄。本年一月中開催之通常協議會日期。十一日八塊庄。十二日龜山庄。十三日蘆竹庄。十四日大園庄。十五日桃園街。

新營郡下
產組總會日程

臺南州新營郡管內產業組合之定期總會。擬于月十五日起。至二十五日。七日間。依左記日程。開總會。

一月十五日青寮信用組合。十六日新營同上。十七日白河四子嶺兩信組。二十日番社信組。二十一日柳營信組。二十二日鹽水港信組。二十三日鹽水港購買販賣組合。

轢斃牛車水牛

新竹郡湖口庄下北勢人廖阿泉之長男水旺。年二十三。去十一日下午二時四十五分。以同庄下北勢李阿土所有水牛二頭。牽縛於貨牛車前進。欲橫被鐵道線路。此間一頭狂奔。入線路內。被下行南車轢斃。

木下前長官
不日離臺

前總務長官木下信氏。業于十三日。照文官分限令。命休職。擬照前所豫定。于十五日離臺云。

水戶訓導夫妻葬儀
十三日福州居留民會葬
滿場參列者欷歔飲淚

福州十三日於本社特電。十三日午後三時。在福州日本居留民會樓上。由居留民會葬。盛大執行。水戶訓導夫妻。爲邦人教育。受拔擢派遣福州。以來歷二年間。爲模範教員。對於兒童教育。獻身盡瘁。終竟爲兇暴之反日會。及反動派所狙。去三日。在平和之小學校內。遭慘殺。以來十日間。在留民。無內外人之別。成慣慨中華當局之無力。國論沸騰。宜府怨之聲。全國勃起。值此。在福州。對於同訓導之葬儀。亦早自前日來整備萬端。木下總務長官代理。赤堀學務課長。亦特臨席。故水戶氏令兄水戶唔郎氏。亦特由內地。夫人之父前川孫一氏。及同夫人。亦共抵該地。立在靈前。是日天地爲愁。式出靜肅。定刻一時開前。遺骸二具。由遺族之手。捧呈祭壇安置。滿場參列者。皆見欷歔飲淚。寂無聲響。邦人一邊。村田總領事。中會根岡報館長。小林。林各氏公會長。山田臺銀。山下商船各支店長。大間知陳各民公會副會長。既在留邦人。殆全部參列。而遺族拈香。各參列員一同告別。至神葬式終。又是日爲警戒萬一。南臺佈特別戒嚴令。葬儀場內外中華巡警。陸戰隊其他。嚴重警衛。而我邦警備中之軍艦。若鹿艦長暨各將校。亦多數參列云。

艋舺慈惠夜學義塾
家屋被請求搬出
爲二百餘名細民塾生
州市協議員向市當局陳情

艋舺慈惠夜學義塾。係數年前。艋舺紳士。創立當初。生徒數不過四五十名。因歲十一至於今日。內女生居多。又義務教師十一。皆極獻身的熱誠。從來會場。假黃姓宗祠。其後以生徒數彌增。場所狹隘。乃轉假四園山高姓更齊附于同義塾。實收僅十圓。及至最近。爲種々原因。及乡少感情問題。至被該宗祠管理人。向法院請求家屋明渡。而與契約之名義人。同義塾教師李氏之動產。以家賃滯納故。且受差押。爲事關於地方細民教育大問題。去十二日。佐々木市助役。偕同千葉教育課長。且身到文山郡訪問熊非郡守。懇爲斡旋同郡守。亦十分同情。即日與高姓管理人代表者高沛蚶氏。協議結果。同代表者。亦諒之。且云高姓派下共乡。須俟舊曆十二月十六日。同宗祠祭祀之時。再諜于一般。此際郡守及市方面當局。亦欲臨席。並招致義塾經營者。相與疏通意見。一面萬華方面州市協議員。亦承認同義塾有十分存置之重大價值。昨十三日下午一時。聯袂往訪市千葉教育課長。及佐々木助役。先後陳謝對於同義塾。至今種々調停斡旋之勞。並請此後要樹立根本的解決方策。即近附市有地之無償貸下。及建築費一部補助。至二時過退出。

基同風會
施米募捐

基隆同風會。依例決定舊曆年末。對市內貧民施米。去十二日。經照會各保正。募集施米資金。並調查貧民。因當市民。對施米之舉。頗爲踴躍。每年以自發的。寄附現金者。約千餘圓。寄附白米者數十石。此次景氣不況。貧民日增。年末施佃者。當此前年較乡。當此者深望仁人士女。踴躍力義捐。毋論金錢或白米。均可來捐也。

漂流中第一平安丸
船中無人原因不明
或疑有重大案情

蘇澳漁港。從事旗魚漁業之第九晉洋丸船長德村喜平氏。于四五日間。出漁花蓮港方面之歸途。駛至蘇澳郡管內之大南澳沖。突見有一隻漁船。隨波漂流。乃曳歸于漁港。明當局。發見其船名。爲第一平安丸(二十五馬力)。漂流原因既不明。而船中無人蹤跡。故一切事情不明。疑其中含有重大事件。故以慎重。保管于蘇澳漁港。

基隆方委
議大會提案
並選說明者

基隆市方委。去十一日夜。於公益社樓上。開臨時協議會。吉富市尹。小島助役。乡喜視學。及顧問石坂。許梓桑二氏。外委員等出席。議決全島方委及社會事業大會之提案二件。磋商事項一件。大會出席者。決定野口。高橋。林雙輝。蔡式穀四氏。選野口。高橋。林雙輝三氏爲說明者。又由磋商州之提案。下乃于總會。詳問于其之決定云。

鷺洲庄某巡查少女
妄言被推倒强奪
大橋全校生受查問

十三日午前。臺北市大橋公學校。接到北警察刑事主任電話。言有新莊郡鷺洲庄派出所某巡查少女。通學建成小學校。行至大橋頭市營乘合車停留場。被大橋公學校生徒。推倒在地。奪取乘合車回數券。以此校接到此信。一時大驚。以爲強盜行。即時對全校生徒一千數百名。一々查問。然真相不明。有云自已跌倒者。其後該女之母。至乘合車詰所調查。適有一運轉手。見其當時之狀況。據云目見被亞鉛線鉤足跌倒。時形狀。推非被人推倒。而乘車券被奪則未見。然于自動車內。已發見其乘車券。綜合其情狀。乃該少女跌倒後。倉皇登車。而車券遺失車內。因恐被父母叱責。遂妄言被人推倒奪取。其父母亦深信其女之言。即將情訴北署查究。而北署亦信其詐。以致全校生徒。被查問至過午一時頃。幸其時有某運轉手把認。得以略證其一二。全校生不致受汚點。然該巡查爲輕信其女之言。騷擾千數百名生徒。未免過于輕率。一般父兄。頗懷不滿也。

破留置場
竊盜嫌疑者
被北署捕住

臺北北署三河內。陳兩刑事。去十一日午後七時頃。在下奎府町二丁目路上。密行中。發見一怪漢。欲往捕時。該漢手揮臺灣刀抵抗。雙方大格鬪。後捕住卒往北署取調。結果判明同人爲羅東郡羅東北成人江阿宗。年二十四。昨年十一月中旬。爲竊盜嫌疑者。留置在羅東郡警察課取調。同月二十日破留置場逃走。後往新莊郡、基隆、臺北等處行竊。目下繼續取調中云。

被路弓
射傷續報

竹山郡竹山庄大鞍第一號職發。傭丁葉德盛。年二十九。去六日爲視察原料。往隣近山間。被余木來。陷設在雜木之捕猪路弓。射中臀部。重傷一事。竹山郡當局。佐々木司法警部。立赴現場檢證。嗣同拘引木來取調。結果判明非出於故意加害。係因德盛。誤踏該路弓所致。但木來尚留置中。又德盛之傷。雖當時出血淋漓。後在英榮醫院治療後。諒無生命之憂云。

詐稱編名鑑
受鳳山郡取調

本籍熊本縣八代郡文政村大字貝津人。現住臺北市建成町二丁目二十七番地。太田信一郎。年三十二。自稱臺灣時事公論社發行人兼編輯人。去十二月三十日。投宿于高雄州鳳山郡鳳山街鳳山字縣口。木賃宿興仙館中。被鳳山郡警察課河野。許英兩刑事。觀其態度可疑。即帶入刑事室。嚴重取調結果。自白前爲日刊工業新聞臺灣支社記者。自去年四月十七日。被支社解雇後。徘徊臺北。新竹。臺中。高雄等處。詐稱欲編成熊本縣人名簿。故持昭和三年六月十日。臺南市大正町二丁目二十番地。川上八百藏方。所發行之全臺熊本縣人名鑑一册。向前記各處騙取前金一千五百餘圓。目下留置嚴究中。

捕家具賊

新竹警察署。去十日上午三時。因接市內某日刊報支局長之盜難急報。有佐藤及李兩刑事。急赴現場臨檢。總見去被盜處之南方榕樹下。放置椅桿。均由東門市場之某商店偸至。暫置於橋上。然後潛入于支局長宅內。匿於暗處。正欲行竊。被家族發見。賊人急向宅外逃出。指新竹驛。被佐藤刑事。追跡捕住。即居於新竹郡舊港庄豆子埔廖逢友。同人自數年來專偸家具。賊品價格。統計約達數千圓。現拘審中。

縛住姦夫
毆至不省人事
在分室取調中

中壢郡楊梅庄人劉阿達。年二十四。其妻某。與同庄人高阿北。年三十一。在同庄人彭娘宅處。被新屋庄人吳文和知悉。率其子劉○。劉○慣偵。與北兄持石塊二柄。及麻繩一條。急往彭娘送家。姦夫高阿北被縛住。川石鑿毆之。使陷于人事不省。高塚分室主任接報。急往現場。將加害者捕住。留置在分室取調中。又事件發生同時。大川郡警察課長。亦急往現場檢證云。

臺南
見本展示

臺南商工會主催之大阪商品見本展示會。去十三、四兩日間。假臺南市公會堂。舉行展示會。同會出展物。關係網羅就地名家所出產者。頗合家庭之需用。購買者。極呈盛況。

信組會期

臺南信用組合。第十一回總會。訂來十七星期日。午後二時。開於市公會堂。本同會議案。內定七款。大體與昨年略同。現由組合發來通知組員一切。

北港
學藝會期

北港郡。依各年各小公學校長會議所決定事項。訂本月。來十七日。午前八時起。在北港公會堂。開北港小公學校兒童學藝會。當日出席兒童。豫定五百餘名云。

方委會議

北港郡北港街方面委員。如例于十二日午後三時起。在街役場樓上。開方委會。協議舊年末窮民施救其他數件云。

虎尾
俱樂會議

虎尾公會堂俱樂部。去十日午後四時起。在該俱樂部內。開本年度部員總會。先由部長述開會辭。大村會計。報告昨年度收支決算。嗣役員選舉。委任郡守指名。概照舊重任。六時移開役員懇親會云。

撞球競技

虎尾寮老扆氏所管之寫眞俱樂部。內兼設撞球部。生意頗佳。去四日開競技大會。一等被蔣昆輝氏所得。豫定舊正。再開第三回競技大會。

農產被害

郡下海口地方。因連日氣候寒冷。一般農產物被害甚乡。如甘蔗地瓜等。殆近全滅。地方農民。憂上加憂。

壯丁初出

虎尾郡下壯丁初出式。去十一日午前八時起。在虎尾郡役所後援舉行。是日郡下各部落壯丁參集。及其他一切。消防午後二時解散。

圖書活寫

虎尾圖書館主催。去十一日午後六時半起。在虎尾公會堂內。公開映寫。極力宣傳圖書館週間。右係得虎尾庄役場後援。徵收料金也。

詩

辛未除夕　陳宗松

冷冷清清[illegible]

老付　林篁堂

[illegible]

漁談

輕油發動機
省石油半額

德島縣小松島町字之北人上阪長太郎。年三十二。者手改良農村經濟。以救農之。自本年始。近鑑農村必需品之石油發動機。已得成功。該機省用石油。過于高貴。故將內部消器。施一定裝置。可使用輕油。而運轉皆與石油同。亦可不破損。又得省石油代五成。到處皆歡迎使用之云。

對外滙水

英國滙水　十三日　三志四○仙八分七

金塊行情　十三日

上海金塊　六八九兩

銀塊行情　十三日

倫敦現物　一九片一六分一五

同先物　二○片

紐育現物　三○仙二

同先物　三○仙一二

十三日臺銀對外滙價

倫敦電滙　二志○片四分一

紐育同　三四弗二分一

孟買同　一三○留比

新嘉坡同　一一八圓

爪哇同　九三月四分一

馬尼剌同　一四五圓

上海(參考賣)同(參考)　九七兩　七五四四分一

漢口參考賣　八九兩

福州同　七六四四分三

廈門同　七五四四分三

汕頭同　七五四四分三

香港同　七六四四分三

廣東同　七六四四分三

漢文臺日案內

[redacted]

婦人科[illegible]